８　環境・地域活動

（１）環境のために心がけていること
（２）環境への影響を考えた日頃からの行動の有無
（３）町会・自治会の加入や活動
（４）町会・自治会に加入しない理由
（５）この１年間に参加した活動と引き続き、または今後参加したい活動

８　環境・地域活動

（１）環境のために心がけていること

問32　あなたが、環境のために心がけていることは何ですか（○はあてはまるものすべて）。

■「ごみと資源の分別を実行している」が８割台半ば、「マイバッグを使うなどして、不要なレジ袋を断っている」が７割台半ば

ア　単純集計・経年比較／環境のために心がけていること

（ア）環境のために心がけていることの上位をみると、以下のとおりとなっている。

①「ごみと資源の分別を実行している」(84.4％)

②「マイバッグを使うなどして、不要なレジ袋を断っている」(74.8％)

③「雑紙を燃やすごみではなく、資源として出している」(54.0％)

④「節電や節水など省エネルギーを心がけている」(51.1％)

⑤「外食時に食べられる分だけ注文する」(48.4％)

（イ）前回調査と比較すると、すべての項目で順位に変動はないが、「節電や節水など省エネルギーを心がけている」が3.4ポイント減少し、「買い物前に冷蔵庫の在庫をチェックする」が3.3ポイント減少している。

図８－１－１－①　経年比較／環境のために心がけていること

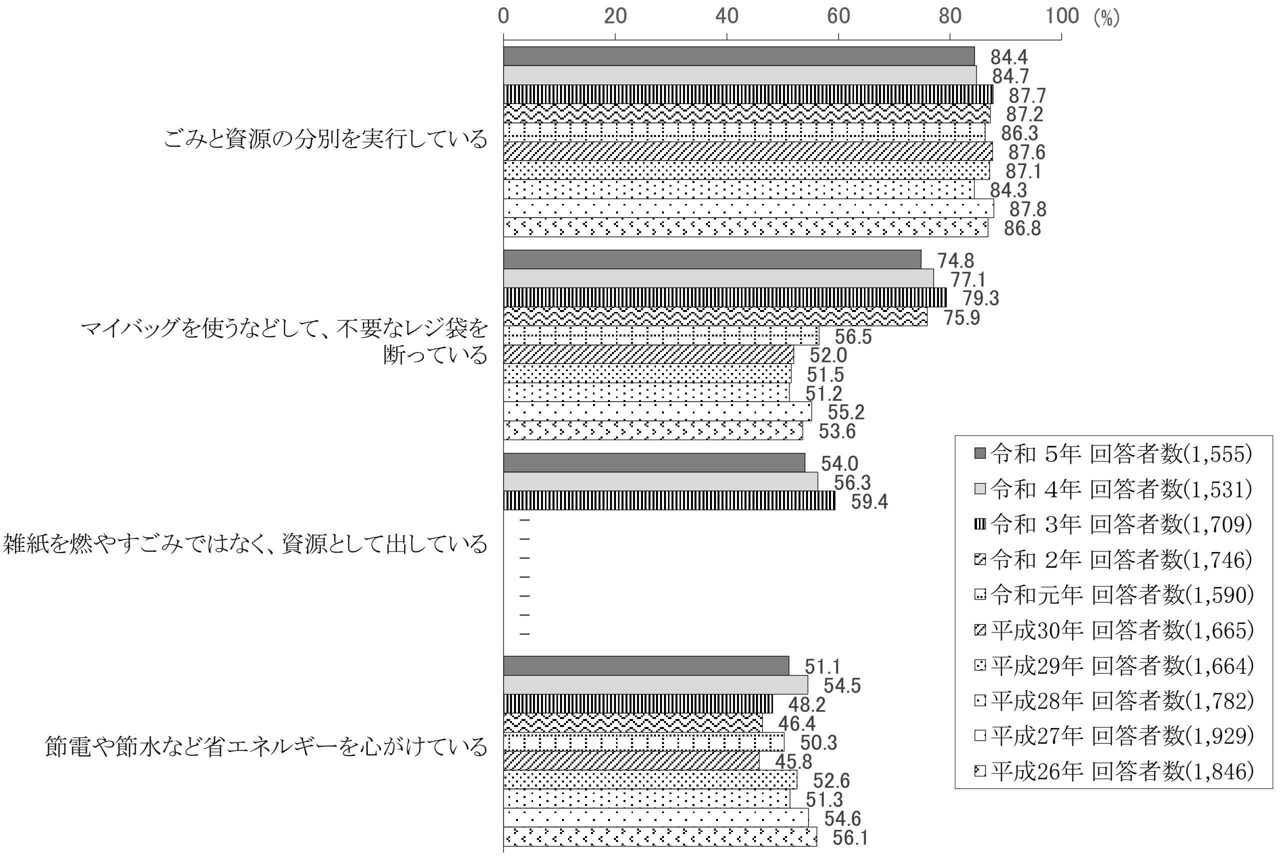


図８－１－１－②　経年比較／環境のために心がけていること

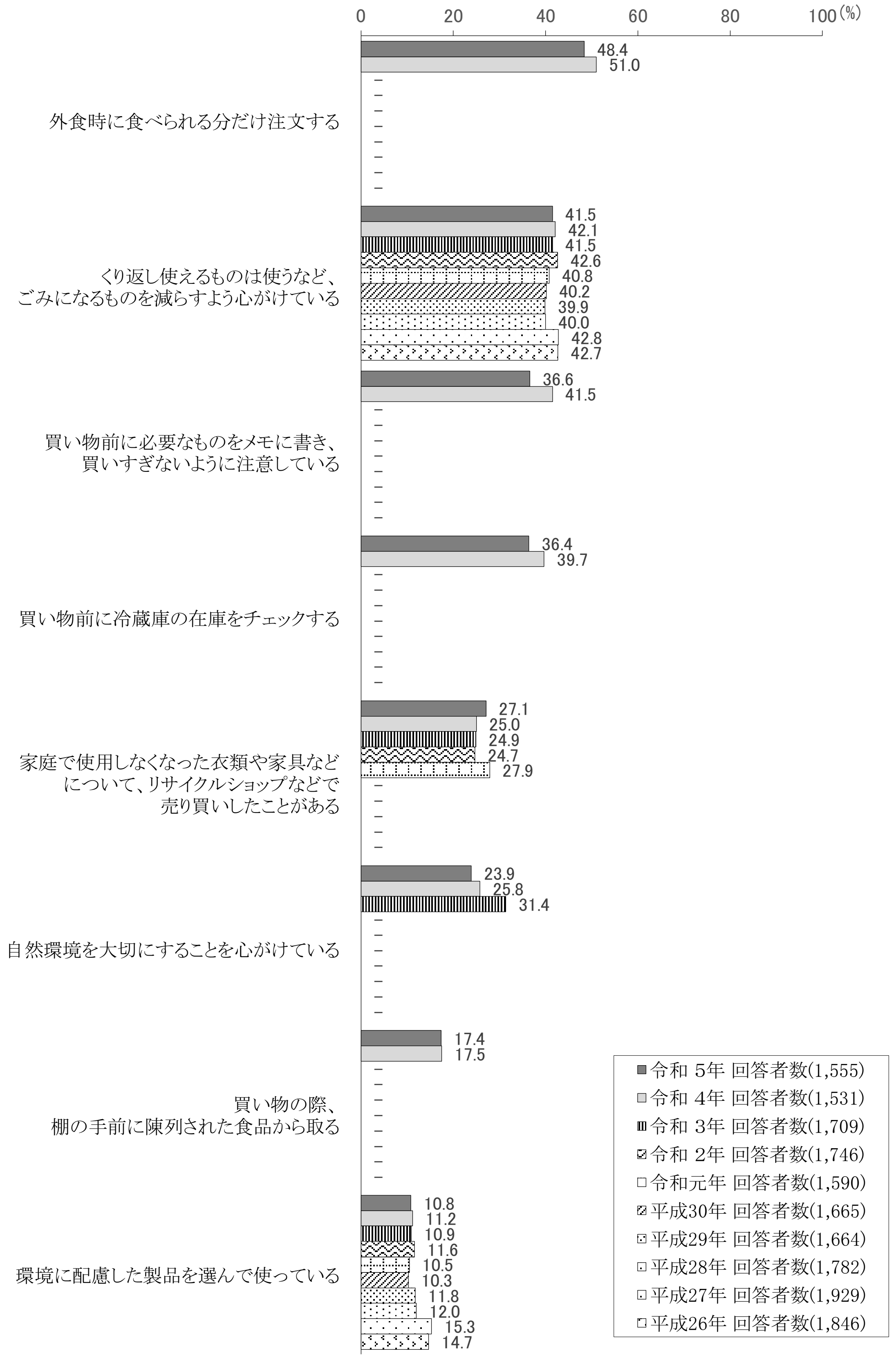
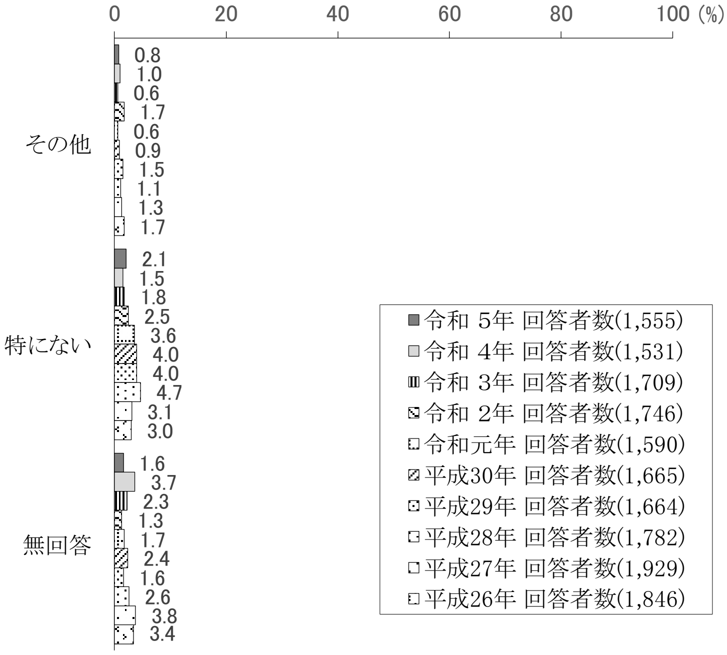


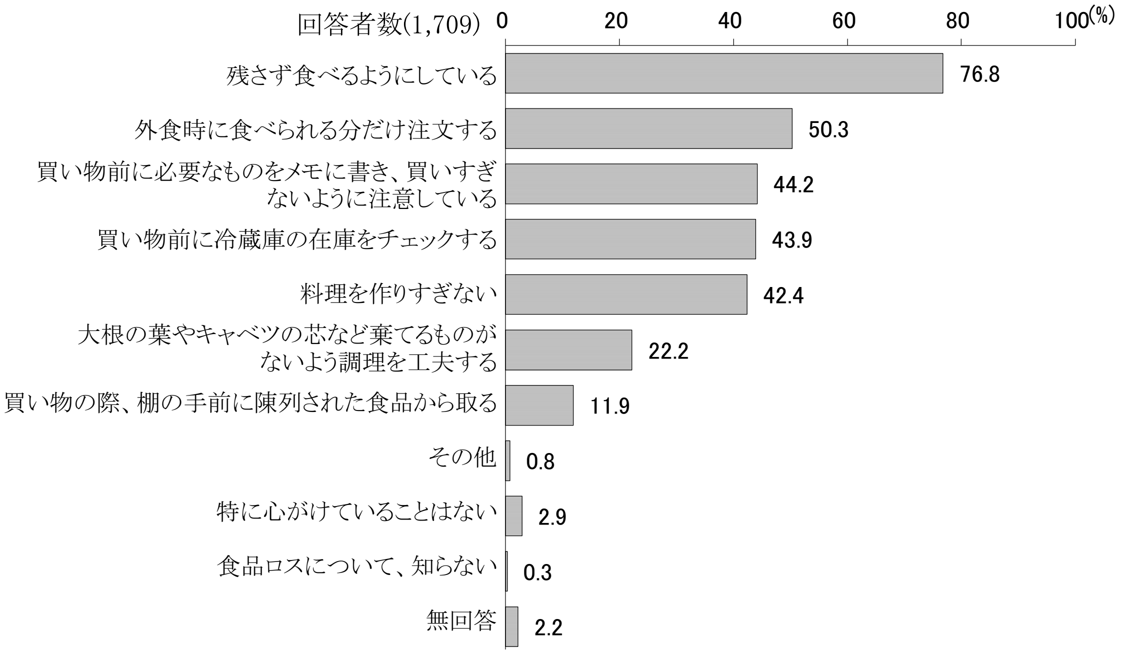
図８－１－１－③　経年比較／環境のために心がけていること



※「家庭で使用しなくなった衣類や家具などについて、リサイクルショップなどで売り買いしたことがある」は令和元年度新設。
※「雑紙を燃やすごみではなく、資源として出している」と「自然環境を大切にすることを心がけている」は令和３年度新設。
※「外食時に食べられる分だけ注文する」、「買い物前に冷蔵庫の在庫をチェックする」、「買い物前に必要なものをメモに書き、買いすぎないように注意している」、「買い物の際、棚の手前に陳列された食品から取る」の４項目は令和３年度まで「食品ロス削減のために心がけていること」についての設問で聴いていたが、前回の令和４年度から本設問に統合。

参考／（令和３年度）食品ロス削減のために心がけていること

問　あなたが、食品ロス削減のために心がけていることは何ですか
（○はあてはまるものすべて）。

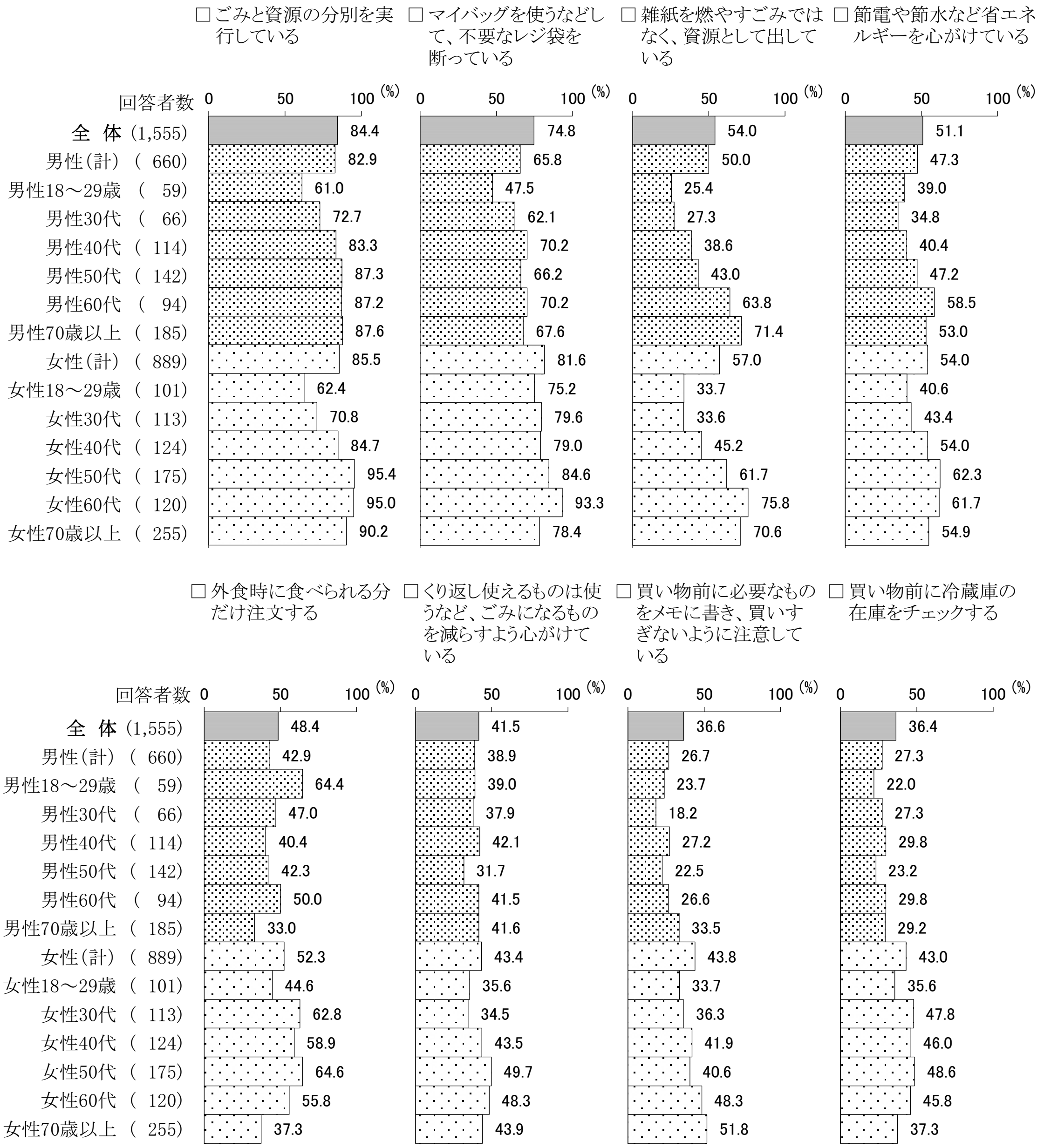


イ　クロス集計・性別、性・年代別／環境のために心がけていること（上位８項目）

（ア）性別でみると、すべての項目で女性の方が男性より高くなっており、特に、「買い物前に必要なものをメモに書き、買いすぎないように注意している」（＋17.1ポイント)、「マイバッグを使うなどして、不要なレジ袋を断っている」（＋15.8ポイント)、「買い物前に冷蔵庫の在庫をチェックする」（＋15.7ポイント）で女性の方が10ポイント以上高くなっている。

（イ）性・年代別でみると、「ごみと資源の分別を実行している」は、男女ともに40代以上で８割以上と高く、18～29歳では６割台前半と低くなっている。「マイバッグを使うなどして、不要なレジ袋を断っている」は、女性の60代で９割台半ばと最も高く、男性の18～29歳で４割台と最も低くなっている。「雑紙を燃やすごみではなく、資源として出している」は、男女とも30代以下（男性：２割台・女性：３割台）で低くなっている。また、「節電や節水など省エネルギーを心がけている」は女性の50代と60代で６割台、「外食時に食べられる分だけ注文する」は男性の18～29歳と女性の30代と50代で６割台と高くなっている。

図８－１－２　性別、性・年代別／環境のために心がけていること／上位８項目



ウ　クロス集計・ＳＤＧｓ認知度別／環境のために心がけていること（上位８項目）

（ア）「環境のために心がけていること」の上位８項目中６項目でＳＤＧｓの認知度合いが高いほど割合が高い比例関係にあり、ＳＤＧｓについて「内容まで知っている」－「知らない（初めて聞いた）」のポイント差が大きい順に並べると以下のとおりとなっている。

①「外食時に食べられる分だけ注文する」（25.4ポイント）

②「くり返し使えるものは使うなど、ごみになるものを減らすよう心がけている」（15.3ポイント）

③「マイバッグを使うなどして、不要なレジ袋を断っている」（13.3ポイント）

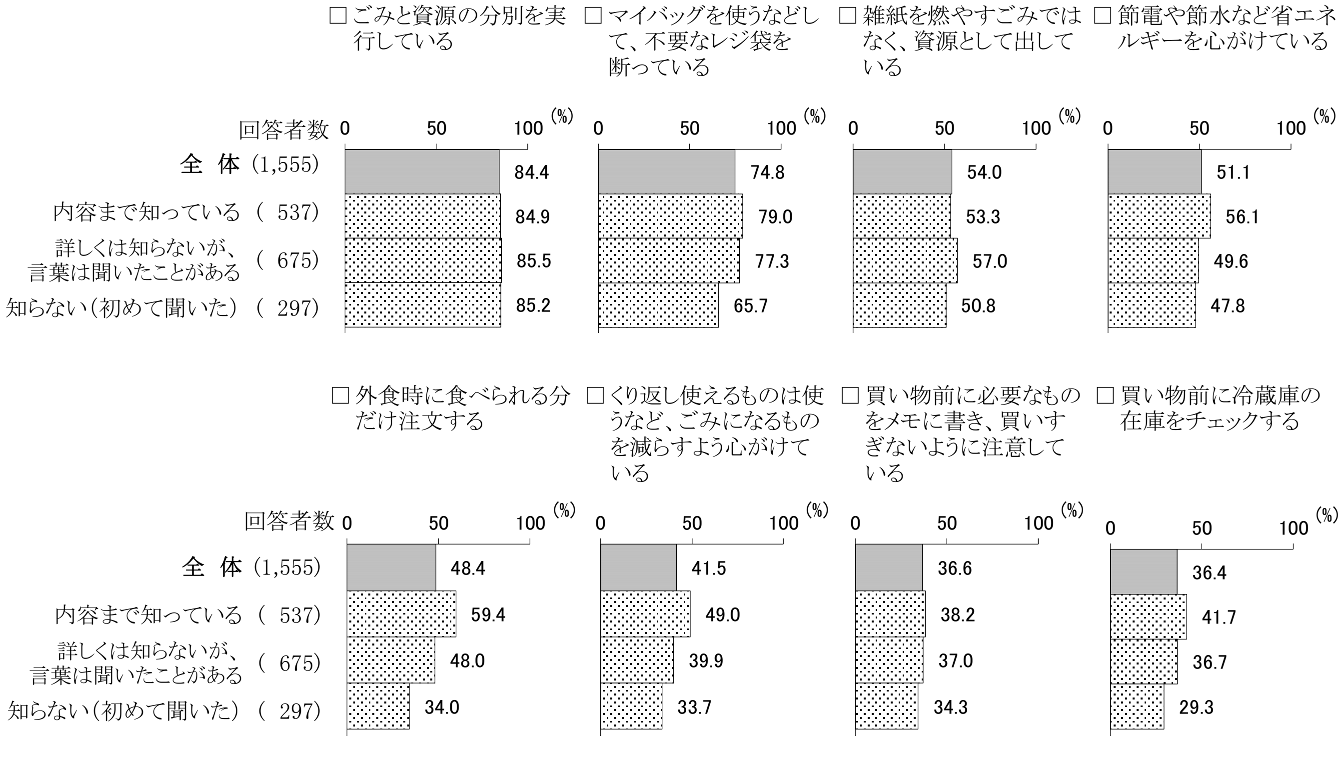
④「買い物前に冷蔵庫の在庫をチェックする」（12.4ポイント）

⑤「節電や節水など省エネルギーを心がけている」（8.3ポイント）

⑥「買い物前に必要なものをメモに書き、買いすぎないように注意している」（3.9ポイント）となっている。

（イ）「ごみと資源の分別を実行している」と「雑紙を燃やすごみではなく、資源として出している」の２項目については、認知度合いとの相関関係はみられなかった。

図８－１－３　ＳＤＧｓ認知度別／環境のために心がけていること／上位８項目



エ　クロス集計・ＳＤＧｓ関心度別／環境のために心がけていること（上位８項目）

（ア）「環境のために心がけていること」の上位８項目のすべてでＳＤＧｓの関心度合いが高いほど割合が高い比例関係にあり、「とても関心がある」－「全く関心がない」のポイント差が大きい順に並べると、以下のとおりとなっている。

①「節電や節水など省エネルギーを心がけている」（34.6ポイント）

②「マイバッグを使うなどして、不要なレジ袋を断っている」（32.4ポイント）

③「くり返し使えるものは使うなど、ごみになるものを減らすよう心がけている」（28.3ポイント）

④「買い物前に冷蔵庫の在庫をチェックする」（27.4ポイント）

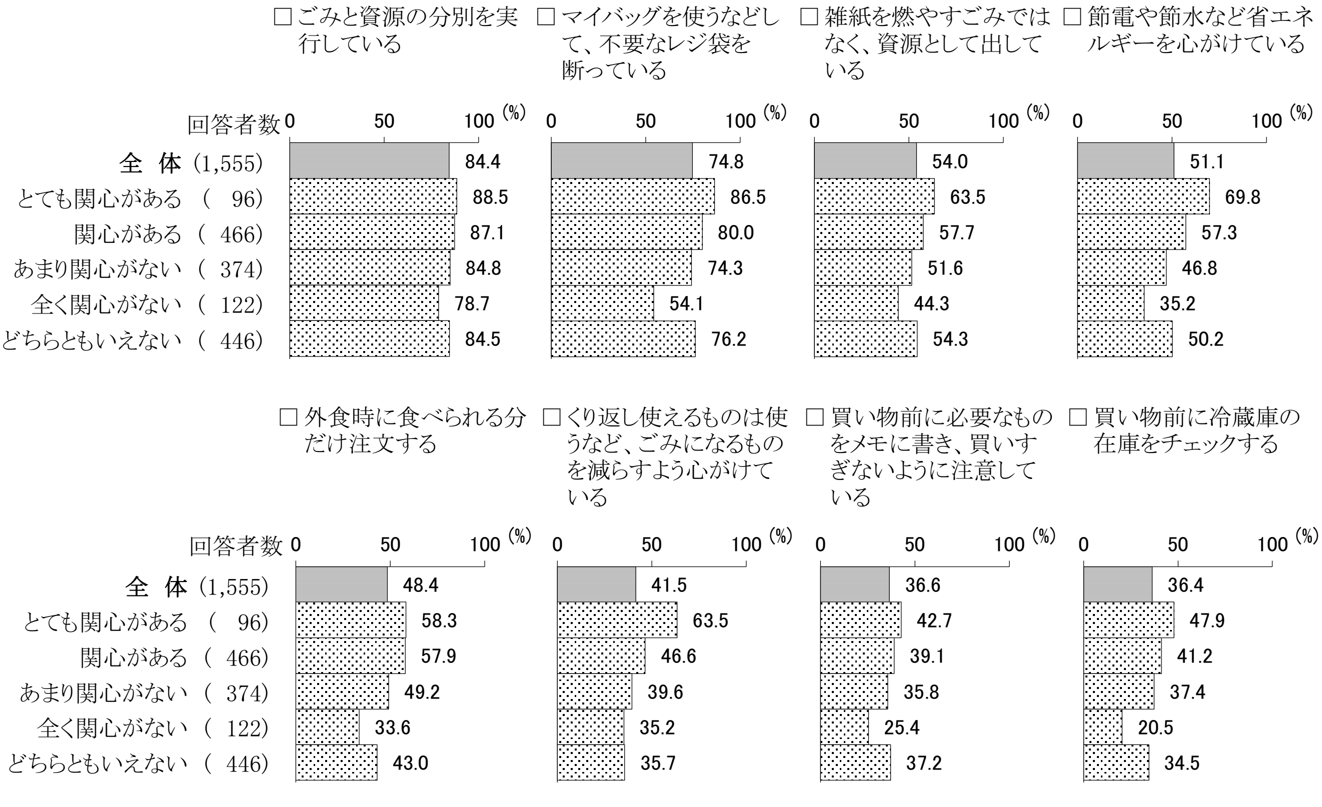
⑤「外食時に食べられる分だけ注文する」（24.7ポイント）

⑥「雑紙を燃やすごみではなく、資源として出している」（19.2ポイント）

⑦「買い物前に必要なものをメモに書き、買いすぎないように注意している」（17.3ポイント）

⑧「ごみと資源の分別を実行している」（9.8ポイント）

図８－１－４　ＳＤＧｓ関心度別／環境のために心がけていること／上位８項目



（２）環境への影響を考えた日頃からの行動の有無

問33　あなたは、日頃から環境への影響を考えて具体的に行動していますか（○は１つだけ）。

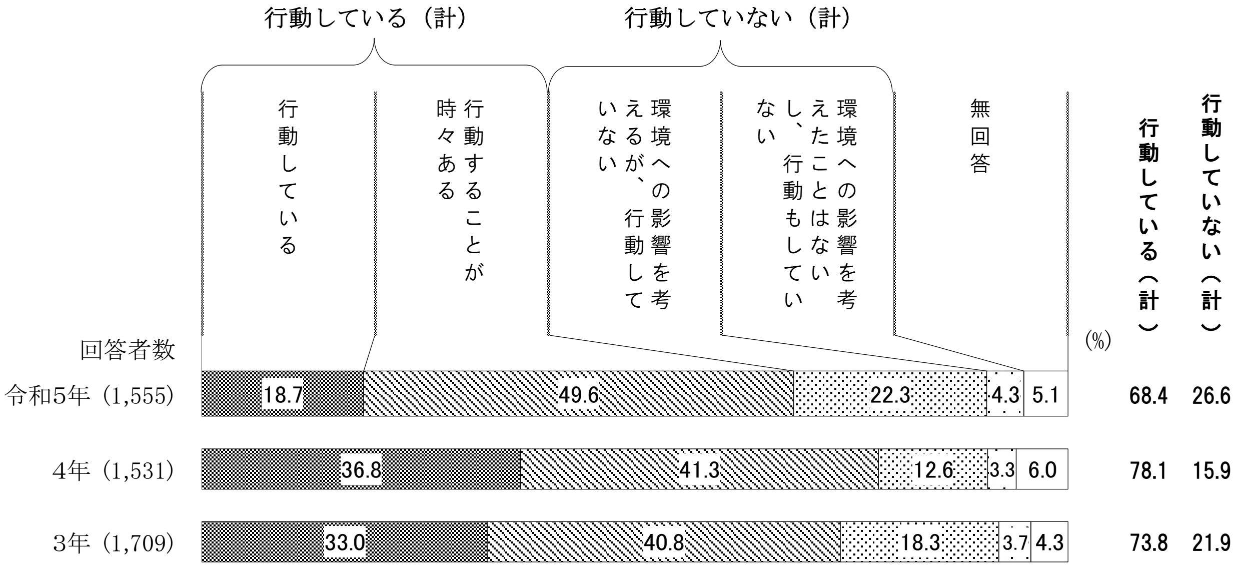
■　【行動している】が７割近くで、【行動していない】が２割台半ば

ア　単純集計・経年比較／環境への影響を考えた日頃からの行動の有無

（ア）環境への影響を考えた日頃からの行動状況は、「行動することが時々ある」が49.6％で最も高く、これに「行動している」（18.7％）を合わせた【行動している】は68.4％となっている。一方、「環境への影響を考えるが、行動していない」（22.3％）と「環境への影響を考えたことはないし、行動もしていない」（4.3％）を合わせた【行動していない】は26.6％となっている。

（イ）前回調査と比較すると、【行動している】が9.7ポイント減少し、【行動していない】が10.7ポイント増加している。

図８－２－１　経年比較／環境への影響を考えた日頃からの行動の有無

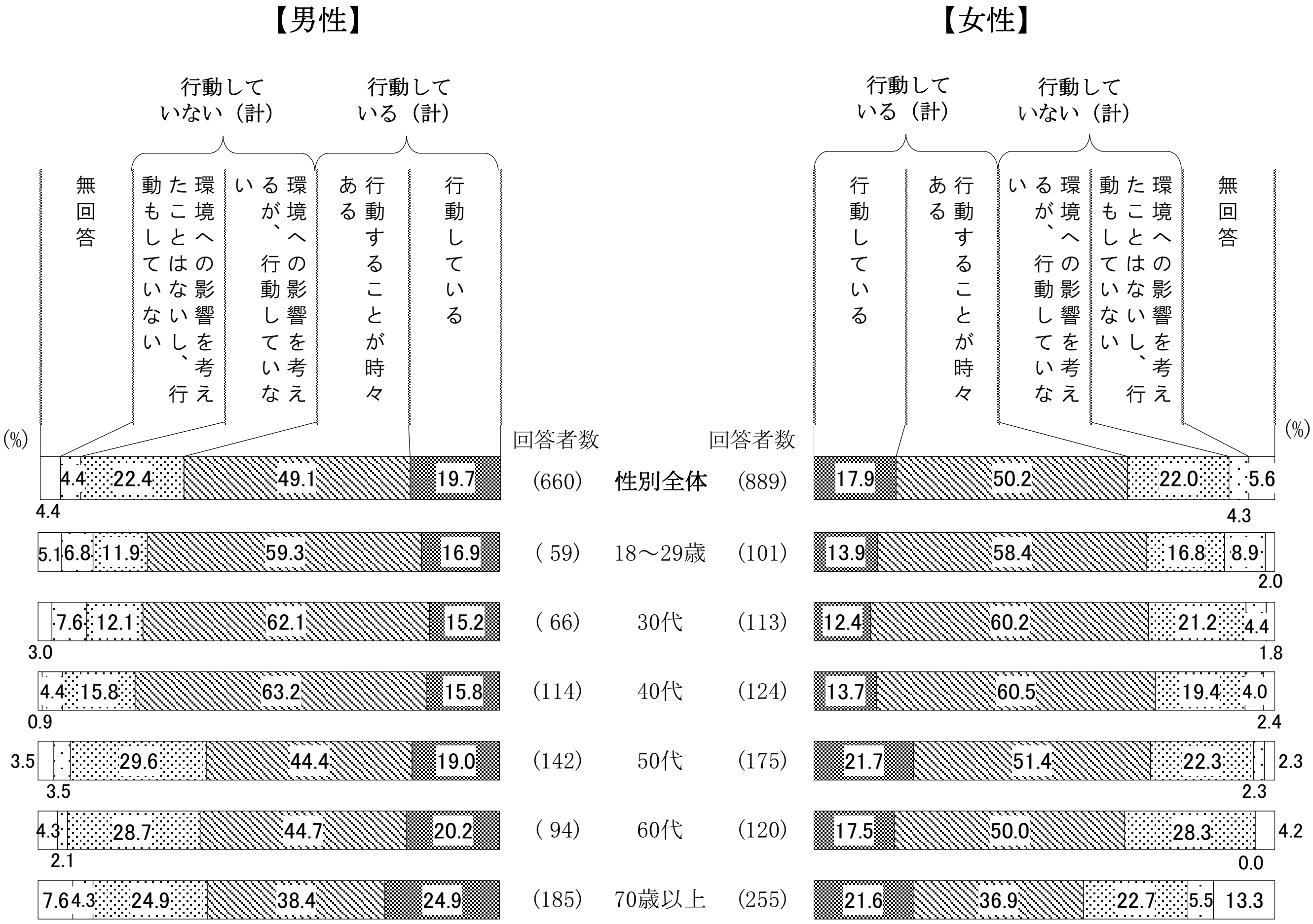


イ　クロス集計・性別、性・年代別／環境への影響を考えた日頃からの行動の有無

（ア）性別でみると、特に大きな違いはみられない。

（イ）性・年代別でみると、【行動している】は男性の40代で78.9％と最も高く、次いで、男性の30代（77.3％）が続いている。一方、女性の70歳以上で58.4％と最も低くなっている。

図８－２－２　性別、性・年代別／環境への影響を考えた日頃からの行動の有無



（３）町会・自治会の加入や活動

問34　町会・自治会の加入や活動についてお答えください（○はそれぞれ１つずつ）。

■　「加入している」が５割超、「活動に参加したことがある」は４割弱

ア　単純集計・令和３年度調査との比較／町会・自治会の加入や活動

（ア）自分の住所地に該当する町会・自治会の認知については、「はい（知っている）」が65.4％を占め、「いいえ（知らない）」が30.9％となっている。

（イ）町会・自治会への加入状況は、「はい（加入している）」が51.8％で、「いいえ（加入していない）」の44.8％を上回っている。

（ウ）町会・自治会の活動内容については、「はい（知っている）」が49.7％で、「いいえ（知らない）」の42.6％を上回っている。

（エ）町会・自治会の活動への参加状況は、「いいえ（参加したことはない）」が54.3％で、「はい（参加したことがある）」の38.1％を上回っている。

（オ）前回の令和３年度調査と比較すると、すべての認知・加入状況の割合が減少しており、減少ポイントが大きい順に下記のとおりとなっている。

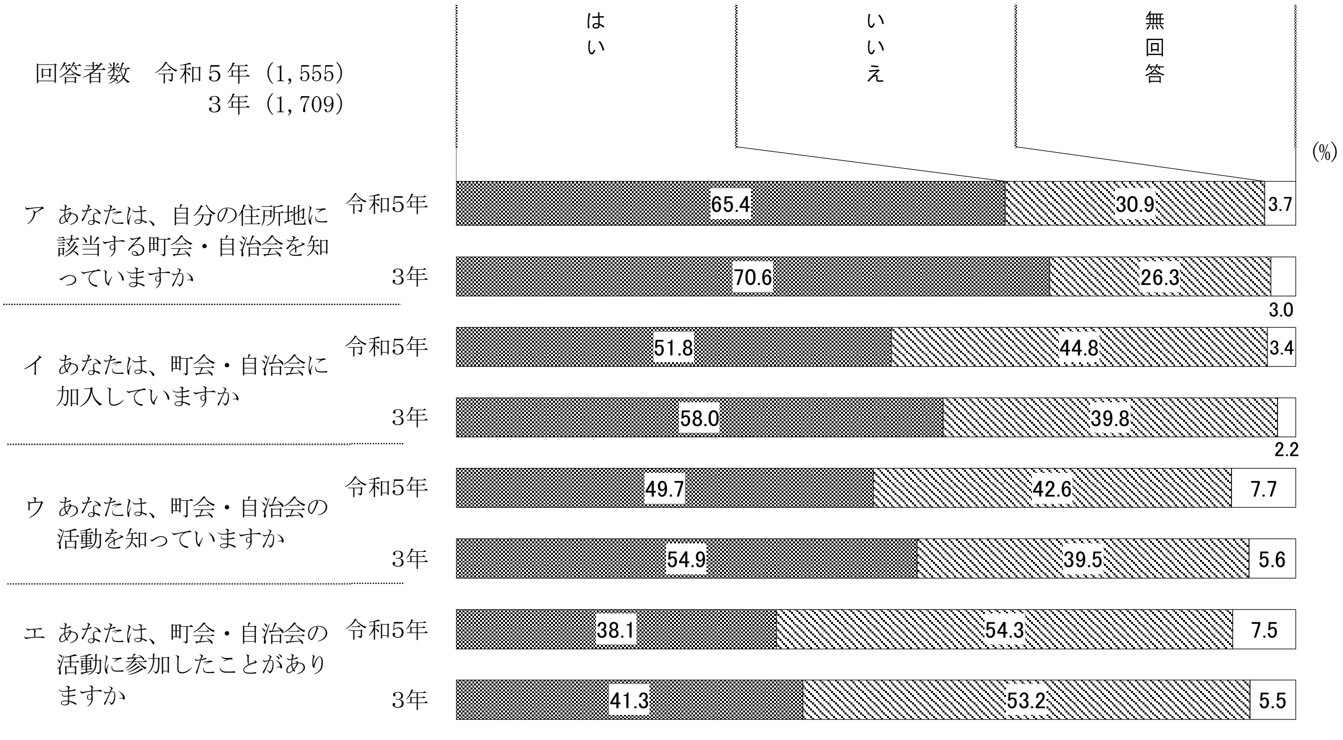
①「町会・自治会への加入状況」（－6.2ポイント）

②「自分の住所地に該当する町会・自治会の認知」（－5.2ポイント）

③「町会・自治会への活動内容の認知」（－5.2ポイント）

④「町会・自治会への参加状況」（－3.2ポイント）

図８－３－１　令和３年度との比較／町会・自治会の加入や活動

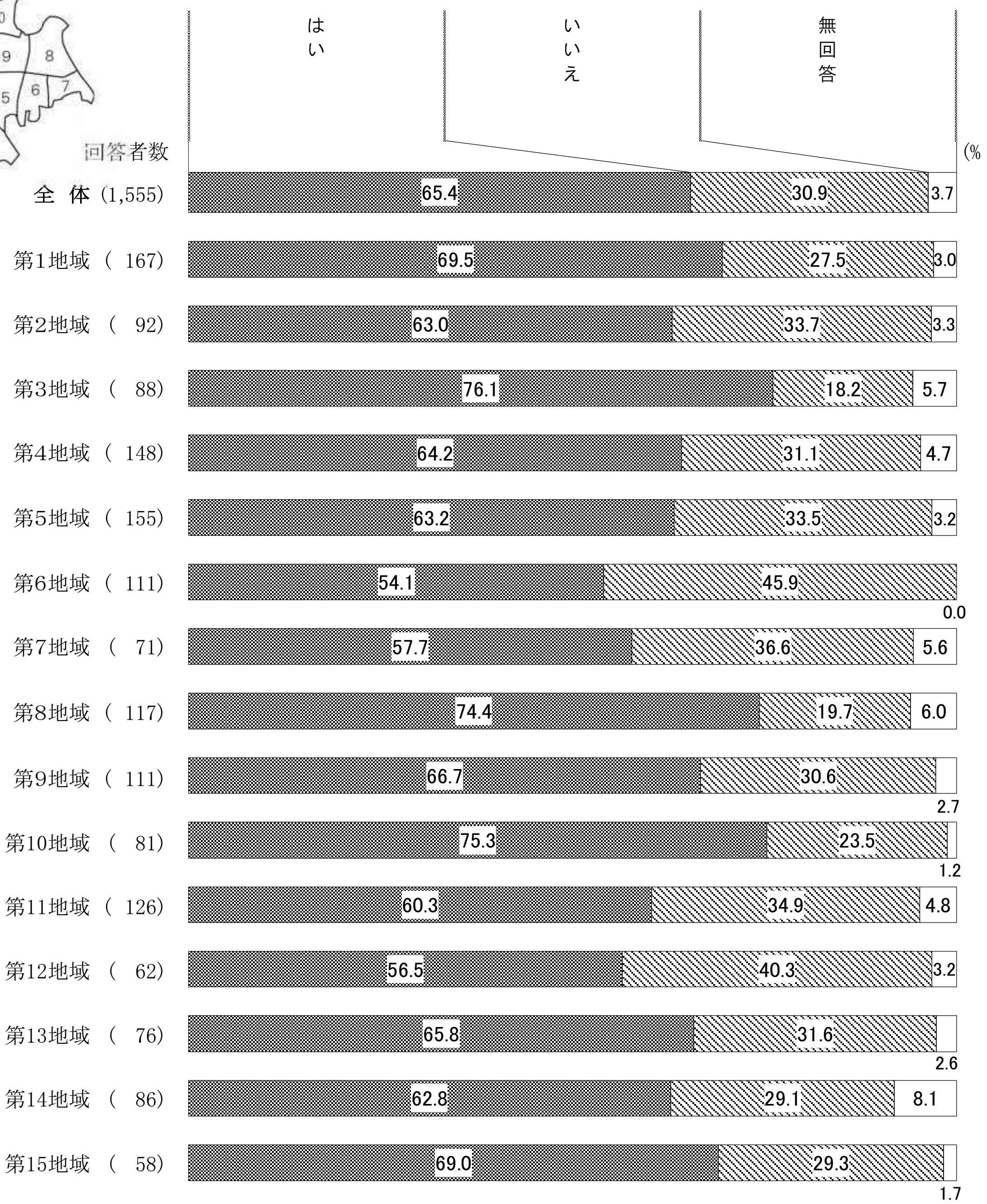


イ　クロス集計・地域別／自分の住所地に該当する町会・自治会の認知状況

（ア）自分の住所地に該当する町会・自治会の認知状況を地域別にみると、「はい（知っている)」は第３地域が76.1％で最も高く、次いで、第10地域（75.3％)、第８地域（74.4％）が７割台半ばで続いている。一方、「いいえ（知らない)」は第６地域が45.9％と最も高く、次いで、第12地域（40.3％）となっている。

図８－３－２－①　地域別／自分の住所地に該当する町会・自治会の認知状況

地域区分図

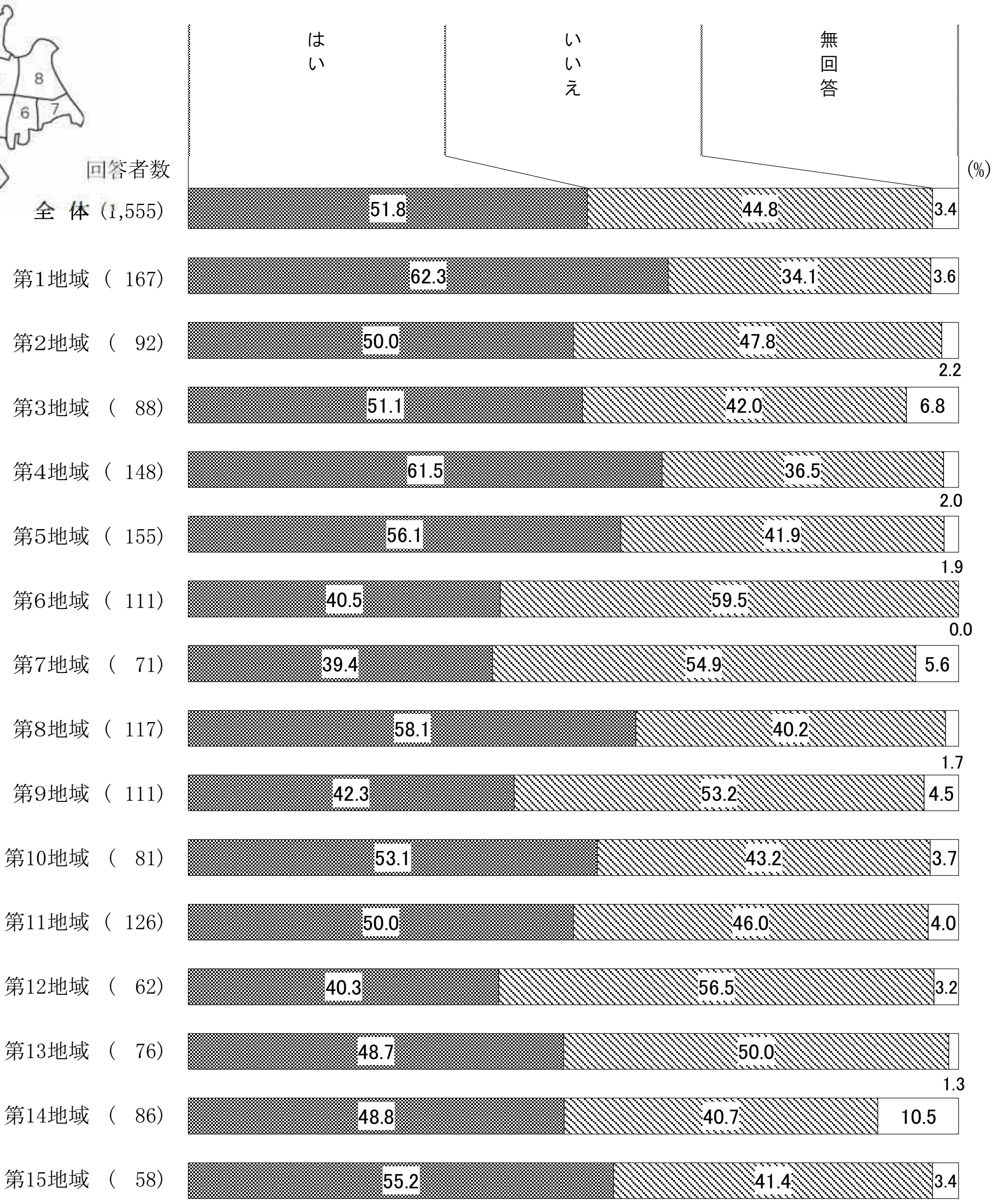


ウ　クロス集計・地域別／町会・自治会の加入状況

（ア）町会・自治会への加入状況を地域別にみると、「はい（加入している）」は第１地域が62.3％で最も高く、次いで、第４地域（61.5％）が６割台で続いている。一方、「いいえ（加入していない）」は第６地域が59.5％と最も高く、次いで、第12地域（56.5％）、第７地域（54.9％）が５割台半ばとなっている。

図８－３－２－②　地域別／町会・自治会の加入状況

地域区分図

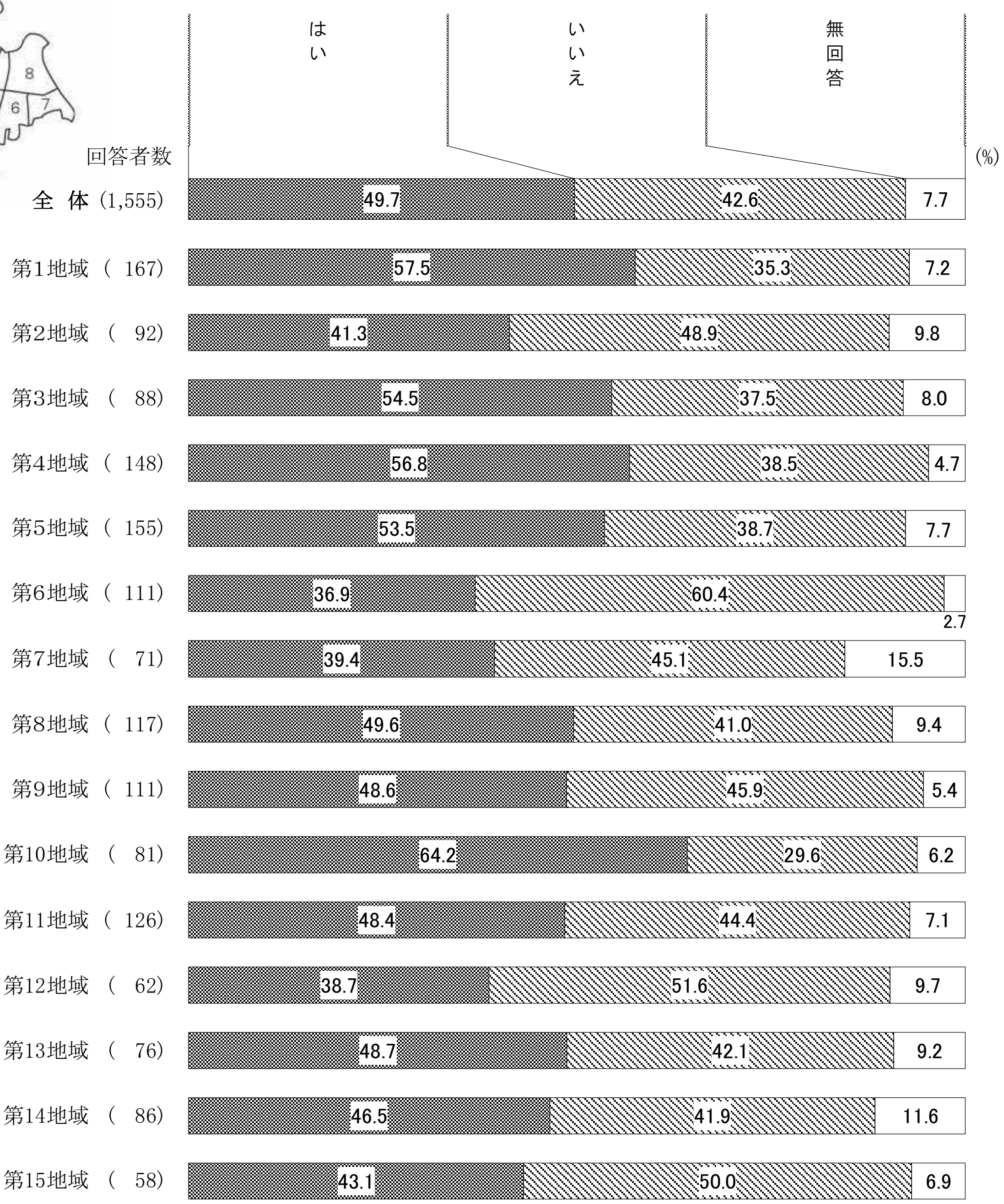


エ　クロス集計・地域別／町会・自治会活動の認知状況

（ア）町会・自治会活動の認知状況を地域別にみると、「はい（知っている）」は第10地域が64.2％で最も高く、次いで、第１地域（57.5％）、第４地域（56.8％）が５割台後半で続いている。一方、「いいえ（知らない）」は第６地域が60.4％で他の地域に比べ特に高く、次いで、第12地域（51.6％）と第15地域（50.0％）が５割台となっている。

図８－３－２－③　地域別／町会・自治会活動の認知状況

地域区分図

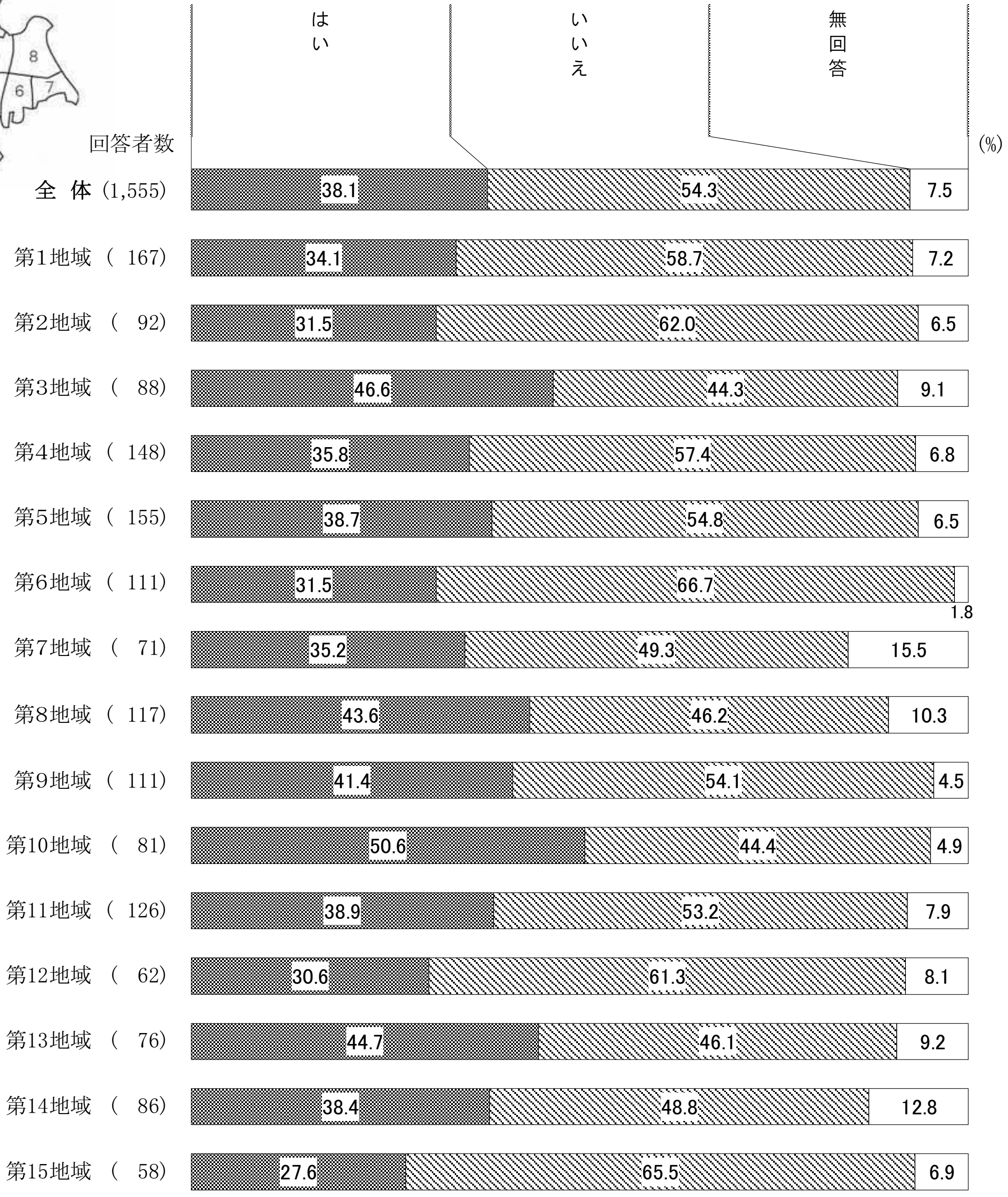


オ　クロス集計・地域別／町会・自治会活動の参加状況

（ア）町会・自治会活動への参加状況を地域別にみると、「はい（参加したことがある）」は第10地域が50.6％で最も高く、次いで、第３地域（46.6％）、第13地域（44.7％）、第８地域（43.6％）が４割台半ばで続いている。一方、「いいえ（参加したことはない）」は第６地域が66.7％で最も高く、次いで、第15地域（65.5％）、第２地域（62.0％）、第12地域（61.3％）が６割台となっている。

図８－３－２－④　地域別／町会・自治会活動の参加状況

地域区分図

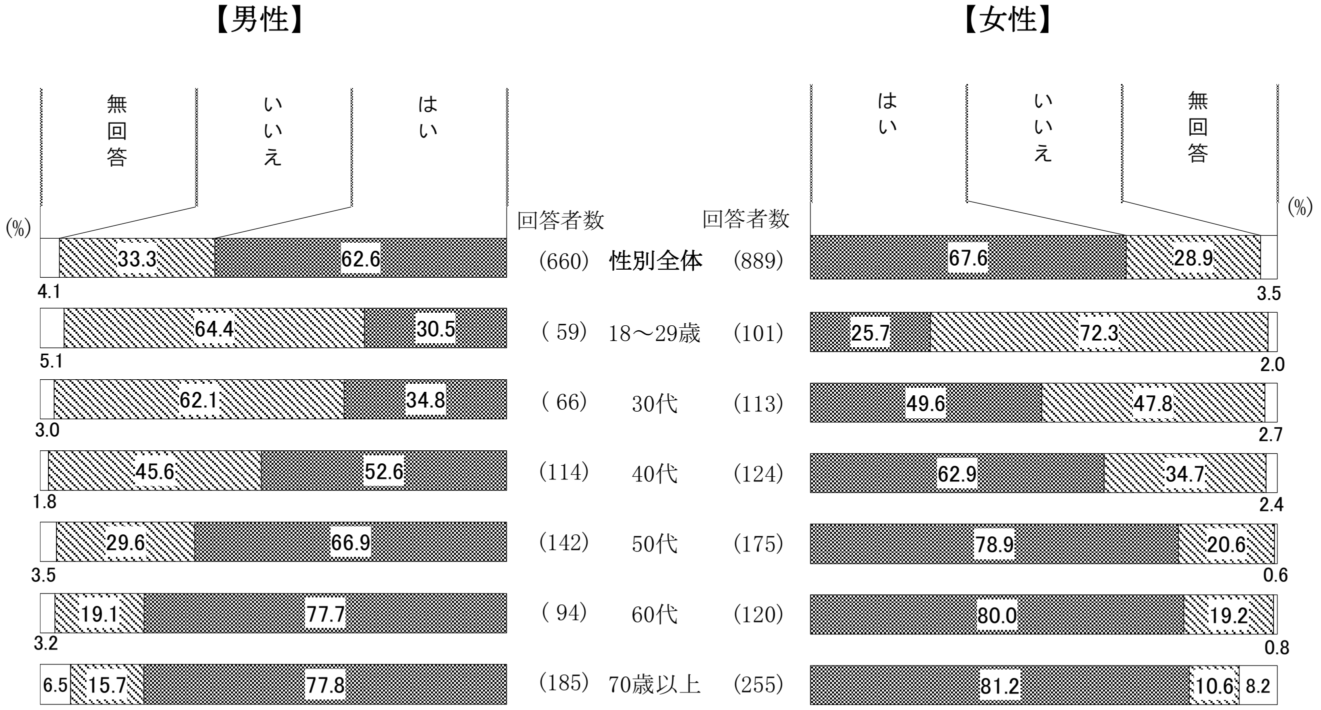


カ　クロス集計・性別、性・年代別／自分の住所地に該当する町会・自治会の認知状況

（ア）自分の住所地に該当する町会・自治会の認知状況を性別にみると、「はい（知っている)」は女性（67.6%）の方が男性（62.6%）より5.0ポイント高くなっている。

（イ）性・年代別にみると、「はい（知っている)」は女性の70歳以上で81.2%と最も高く、女性の60代でも８割台と高くなっている。一方、「いいえ（知らない)」は、女性の18～29歳で72.3%と最も高く、次いで、男性の18～29歳と30代で６割台となっている。

図８－３－３－①　性別、性・年代別／自分の住所地に該当する町会・自治会の認知状況

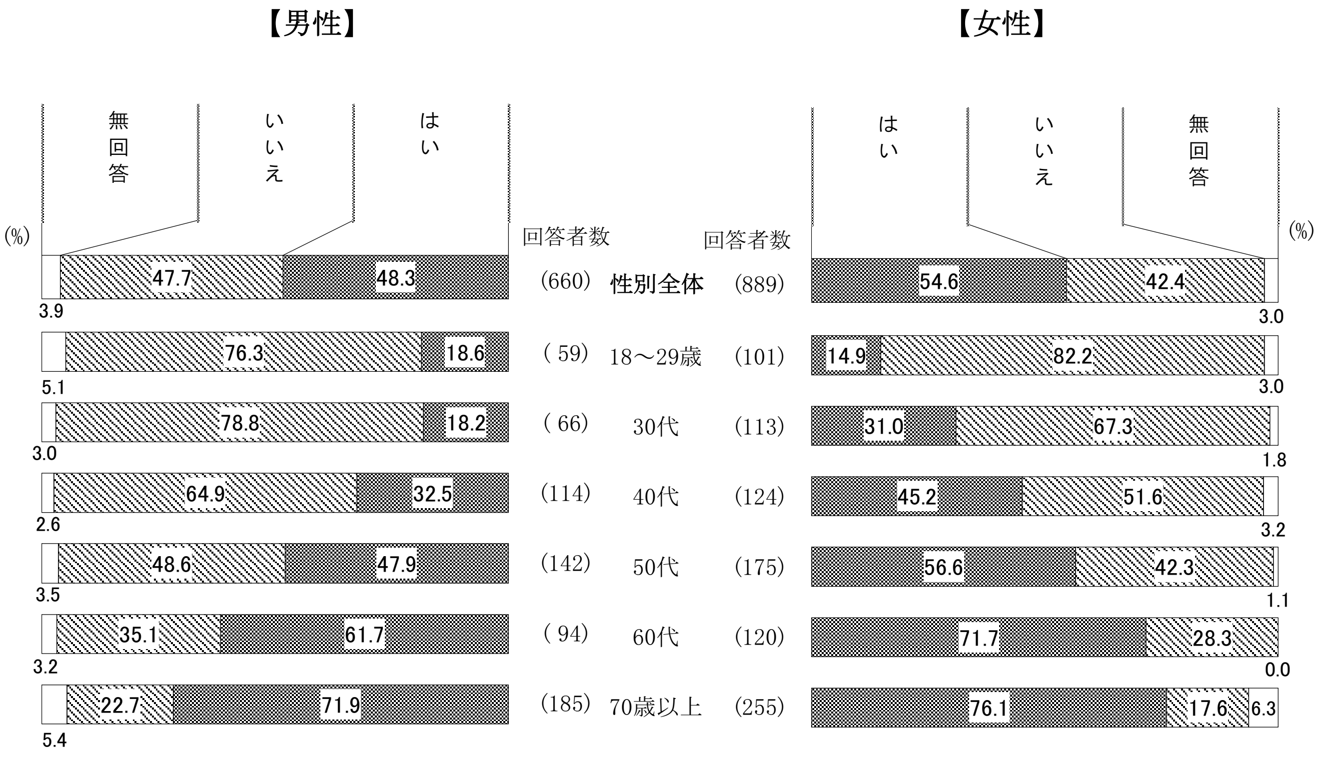


キ　クロス集計・性別、性・年代別／町会・自治会の加入状況

（ア）町会・自治会の加入状況を性別にみると、「はい（加入している)」は女性（54.6%）の方が男性（48.3%）より6.3ポイント高くなっている。

（イ）性・年代別にみると、「はい（加入している)」は女性の70歳以上が76.1%で最も高く、女性の60代と男性の70歳以上でも７割台と高くなっている。一方、「いいえ（加入していない)」は、女性の18～29歳で82.2%と最も高く、次いで、男性の18～29歳と30代が７割台となっている。

図８－３－３－②　性別、性・年代別／町会・自治会の加入状況

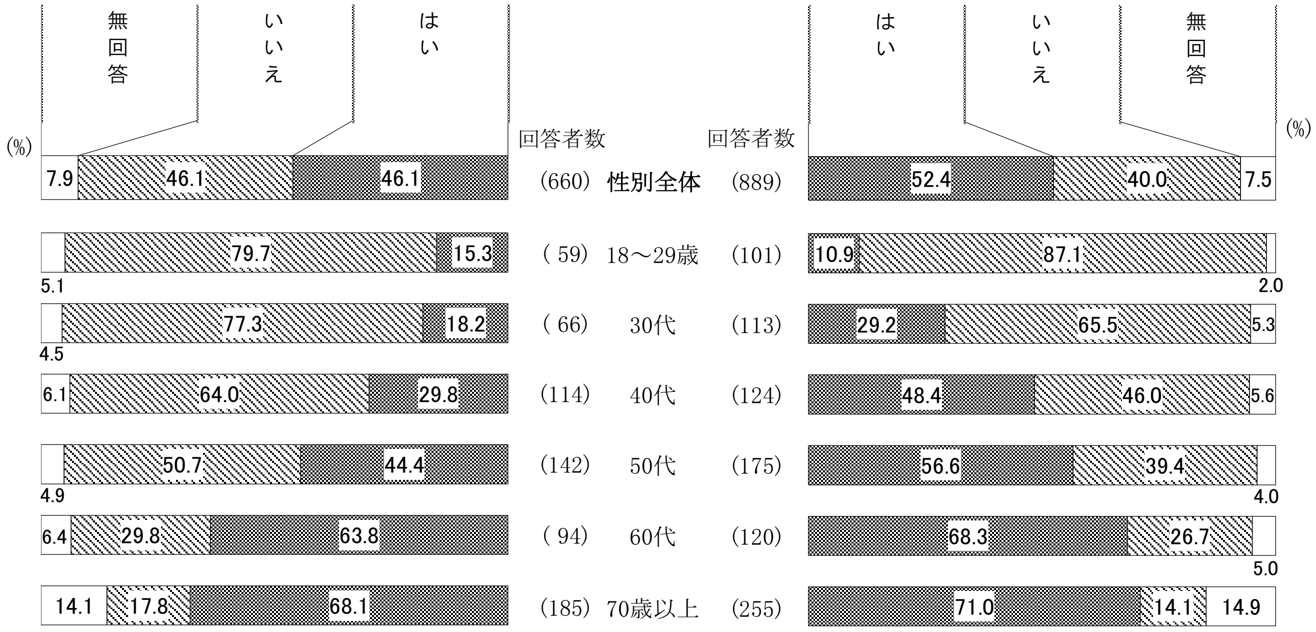


ク　クロス集計・性別、性・年代別／町会・自治会活動の認知状況

（ア）町会・自治会活動の認知状況を性別にみると、「はい（知っている)」は女性（52.4%）の方が男性（46.1%）より6.3ポイント高くなっている。

（イ）性・年代別にみると、「はい（知っている)」は女性の70歳以上が71.0%で最も高く、次いで男性の70歳以上と女性の60代が６割台後半と高くなっている。一方、「いいえ（知らない)」は、女性の18～29歳が87.1%と特に高く、次いで、男性の18～29歳と30代で７割台後半と高くなっている。

図８－３－３－③　性別、性・年代別／町会・自治会活動の認知状況

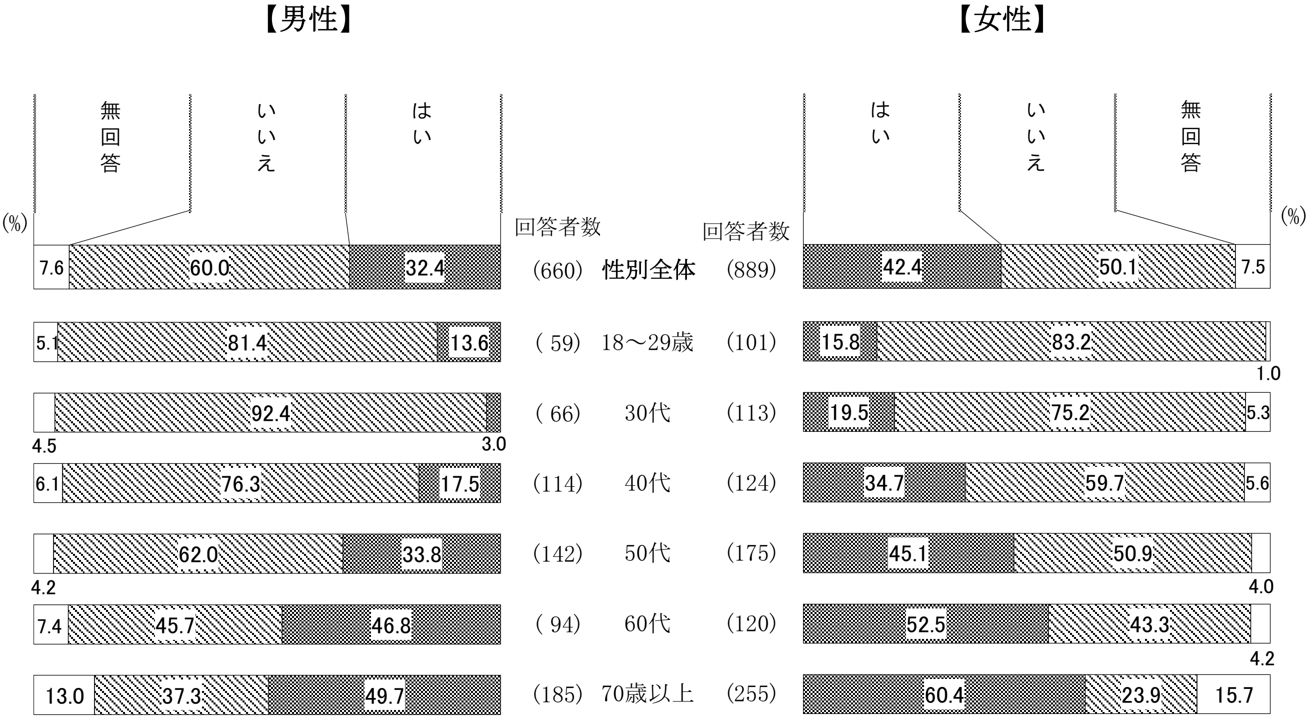


ケ　クロス集計・性別、性・年代別／町会・自治会活動の参加状況

（ア）町会・自治会の活動への参加状況を性別にみると、「はい（参加したことがある)」は女性（42.4%）の方が男性（32.4%）より10.0ポイント高くなっている。

（イ）性・年代別にみると、「はい（参加したことがある)」は女性の70歳以上が60.4%で最も高く、次いで女性の60代が５割と高くなっている。一方、「いいえ（参加したことはない)」は、男性の30代で92.4%と最も高く、次いで、女性の18～29歳と男性の18～29歳で８割台と高くなっている。

図８－３－３－④　性別、性・年代別／町会・自治会活動の参加状況



	男性 回答者数	男性 はい	男性 いいえ	男性 無回答	女性 回答者数	女性 はい	女性 いいえ	女性 無回答
性別全体	(660)	32.4	60.0	7.6	(889)	42.4	50.1	7.5
18～29歳	(59)	13.6	81.4	5.1	(101)	15.8	83.2	1.0
30代	(66)	3.0	92.4	4.5	(113)	19.5	75.2	5.3
40代	(114)	17.5	76.3	6.1	(124)	34.7	59.7	5.6
50代	(142)	33.8	62.0	4.2	(175)	45.1	50.9	4.0
60代	(94)	46.8	45.7	7.4	(120)	52.5	43.3	4.2
70歳以上	(185)	49.7	37.3	13.0	(255)	60.4	23.9	15.7

（４）町会・自治会に加入しない理由

問34の「イ　あなたは、町会・自治会に加入していますか。」で「２　いいえ」とお答えの方に
問34－１　あなたが、町会・自治会に加入しない最も大きな理由は何ですか（○は１つだけ）。

■　「加入の必要性を感じない」が27.4%、次いで「人間関係がわずらわしい」が14.9%

ア　単純集計・令和３年度調査との比較／町会・自治会に加入しない理由

（ア）町会・自治会に加入していない理由を聴いたところ、上位は以下のとおりとなった。

①「加入する必要性を感じないから」（27.4%）

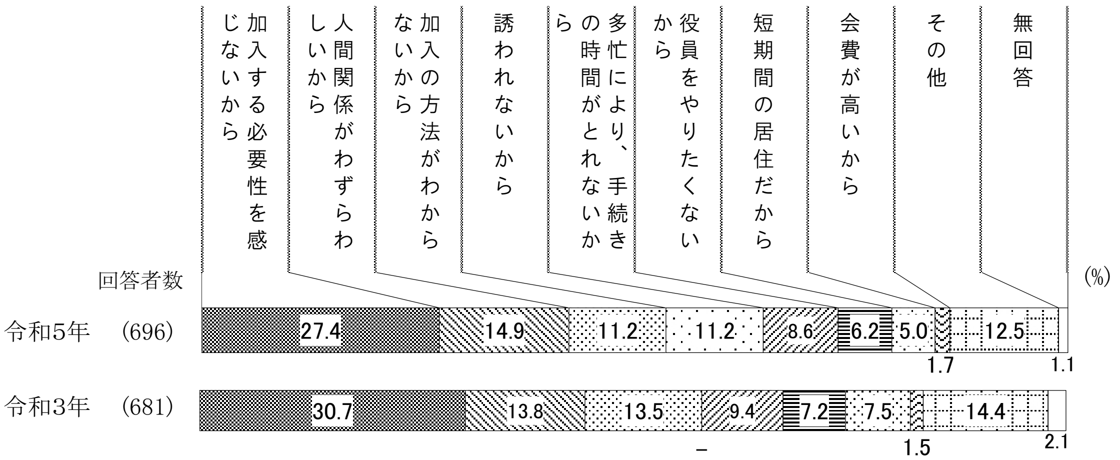
②「人間関係がわずらわしいから」（14.9%）

③「加入の方法がわからないから」（11.2%）

④「誘われないから」（11.2%）※新設

（イ）前回の令和３年度調査との比較では、本設問は単一回答であり、今回調査の新設項目である「誘われないから」が11.2%と上位にあげられているため、従来の選択肢の割合の増減には注意が必要であるが、「人間関係がわずらわしいから」の割合が増加している。

図８－４－１　令和３年度との比較／町会・自治会に加入しない理由



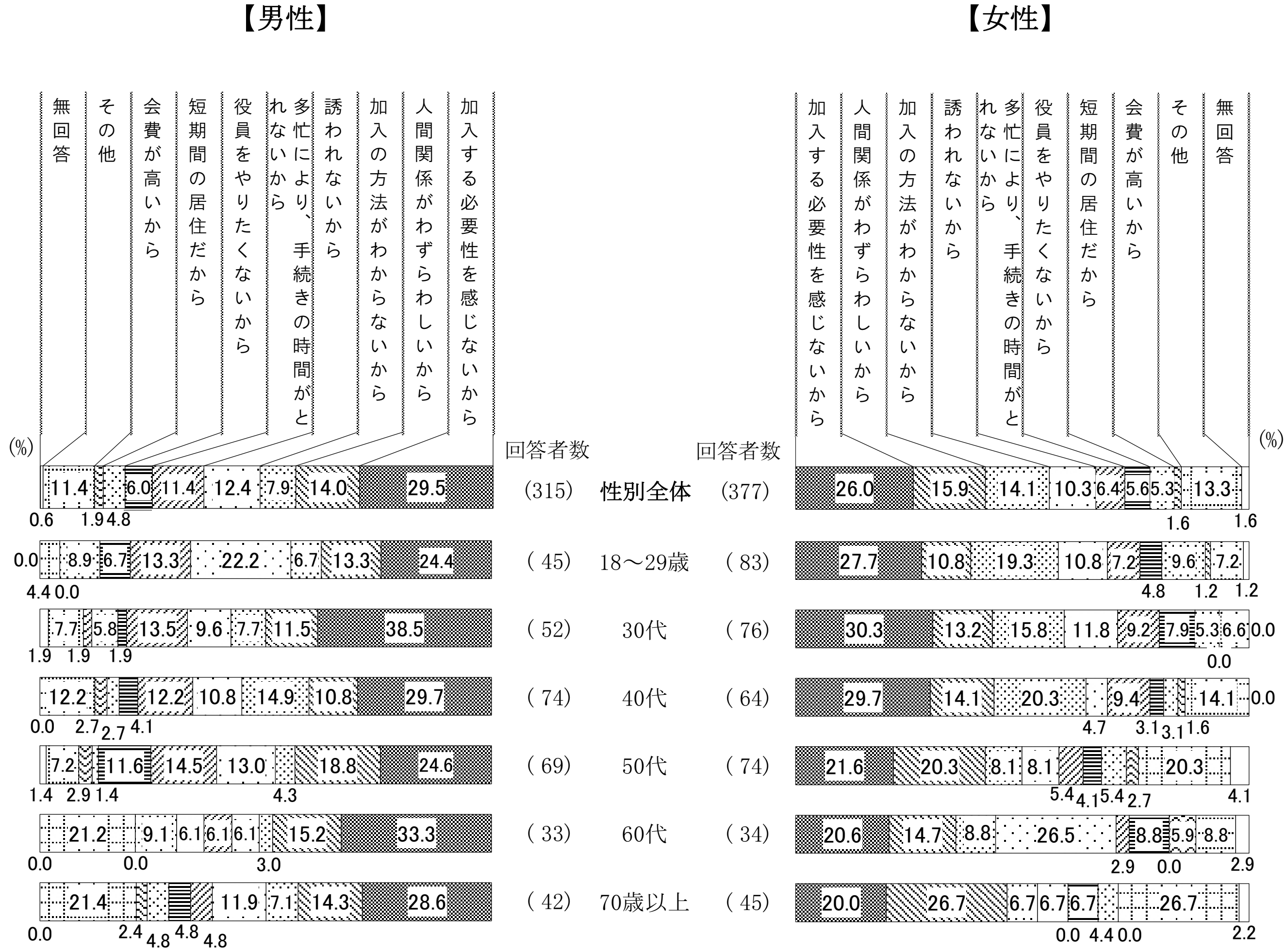
※　本設問は令和４年度については実施していない。
※「誘われないから」は、令和５年度調査からの新設項目。

イ　クロス集計・性、性・年代別／町会・自治会に加入しない理由

（ア）町会・自治会に加入していない理由を性別にみると、「加入する必要性を感じないから」は男性（29.5%）の方が女性（26.0%）より3.5ポイント高く、「多忙により、手続きの時間がとれないから」でも男性（11.4%）の方が女性（6.4%）より5.0ポイント高くなっている。逆に「加入の方法がわからないから」は女性（14.1%）の方が男性（7.9%）より6.2ポイント高くなっている。

（イ）性・年代別にみると、「加入する必要性を感じないから」は男性の30代で38.5%と最も高く、女性の70歳以上（20.0%）で最も低くなっている。「人間関係がわずらわしいから」は女性の70歳以上で26.7%と最も高く、男性の40代と女性の18～29歳（各10.8%）で最も低くなっている。

図８－４－２　性別、性・年代別／町会・自治会に加入しない理由



（５）この１年間に参加した活動と引き続き、または今後参加したい活動

問35　あなたがこの１年間に参加された活動と、引き続き、または今後あなたが参加したいと思う活動はどれですか（○はいずれも、あてはまるものすべて）。

■「文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会」と「講演会や講座、サークル活動など」の集合型活動が増加

ア　単純集計・経年比較／この１年間に参加した活動

（ア）この１年間の参加状況は、「特に参加していない・特にない」が53.2％となっている。

（イ）【参加した活動】を高い順にみると、以下のとおりとなっている。

①「区内・区外を問わず、文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会（映画鑑賞、文化祭や展覧会などの催しも含む）」（18.2％）

②「自宅の庭や玄関先、または公共の場で、プランターや植木鉢に草花を植えるなど、緑を増やしたり、育てる取り組み」（16.5％）

（ウ）調査時点では、新型コロナ感染症の影響がまだ残っており、「特に参加していない・特にない」が前回調査同様５割台となっている。

（エ）前回調査との比較では、“区内・区外を問わず、文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会”が3.1ポイント増加し、自宅での活動が可能な“自宅の庭や玄関先、公共の場で、草花を植えるなどの取り組み”を逆転し１位となっている。また、施設での開催に係る制限が緩和され、「区内・区外を問わず、講演会や講座、サークル活動など」が3.5ポイント増加している。

図８－５－１－①　経年比較／この１年間に参加した活動

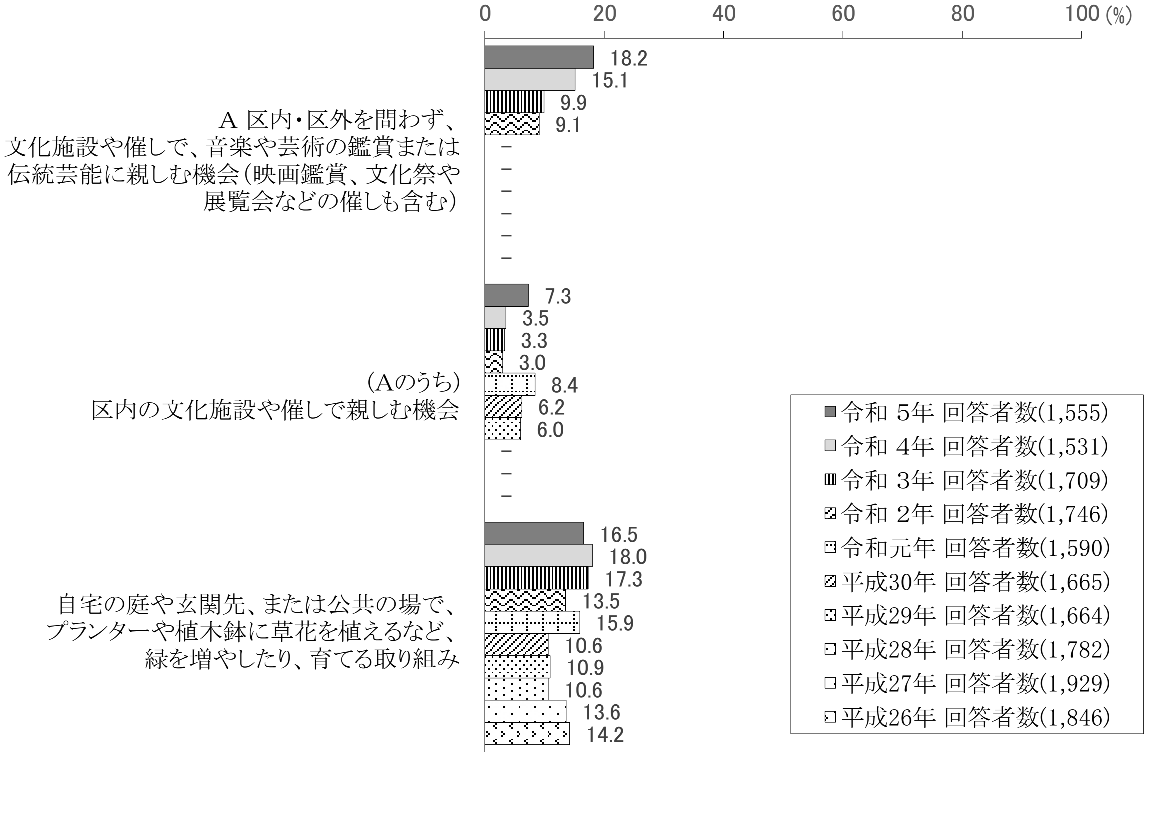
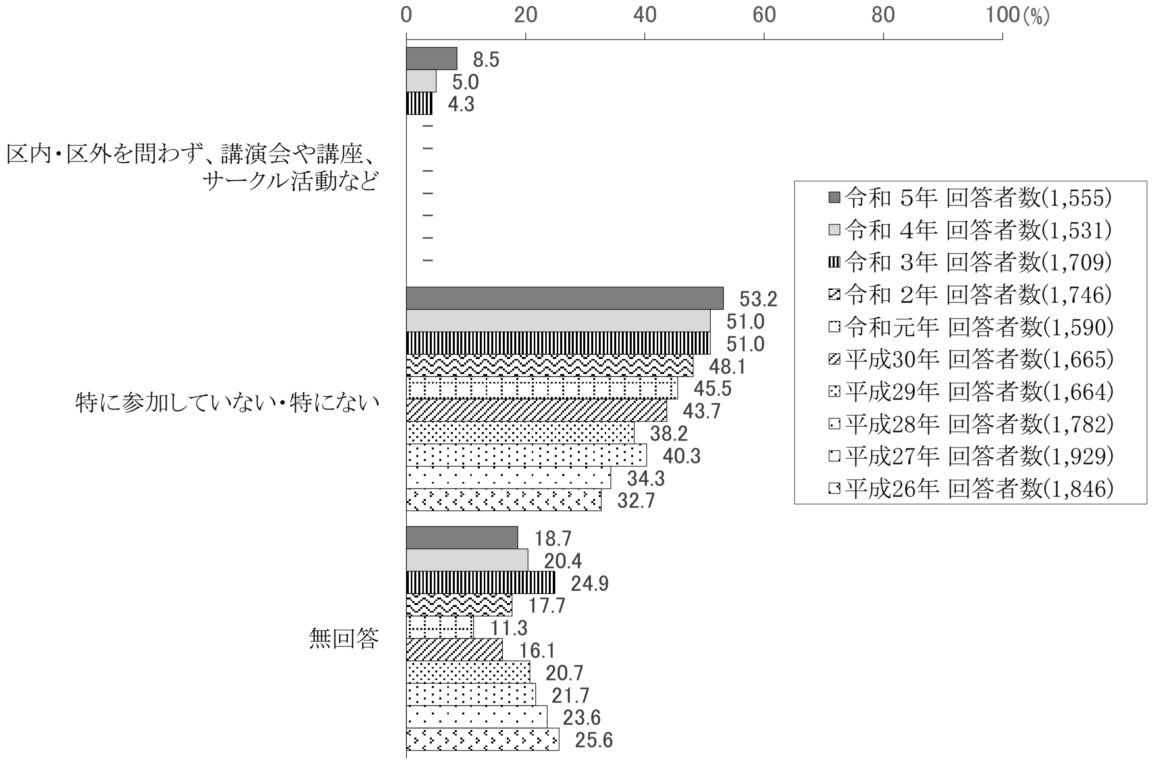


図８－５－１－②　経年比較／この１年間に参加した活動



※「自宅の庭や玄関先、または公共の場で、プランターや植木鉢に草花を植えるなど、緑を増やしたり、育てる取り組み」は、平成26年度から平成30年度まで「自宅や店舗の庭や玄関先、ベランダ、公共の場などでの草花や木、緑のカーテンの育成」で、平成25年度以前は「自宅や公共の場での花壇づくり、緑のカーテンの設置など緑化活動」。

※「Ａ区内・区外を問わず文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会（映画鑑賞、文化祭や展覧会などの催しも含む)」は、平成29年度からの新設項目。平成29～30年度は「区内の文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会」だったが、令和元年度は、従来の選択肢の後に「(映画鑑賞、文化祭や展覧会などの催しも含む)」を加えた。さらに令和２～３年度は、選択肢冒頭の「区内の」を割愛し、副選択肢として「区内の文化施設や催しで親しむ機会」を設けた。さらに、前回の令和４年度で、選択肢の冒頭に「区内・区外を問わず、」を加えて副選択肢との関係を分かりやすくした。

※「講演会や講座、サークル活動など」は令和３年度の新設。今回の令和５年度調査で、選択肢の冒頭に「区内・区外を問わず、」を加えた。

イ　単純集計・経年比較／引き続き、または今後参加したいと思う活動

（ア）今後の活動意向としては、「特に参加しない・特にない」が39.0％で最も高くなっている。

（イ）【引き続き、または今後参加したいと思う活動】を高い順にみると、以下のとおりとなっている。

①「区内・区外を問わず、文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会（映画鑑賞、文化祭や展覧会などの催しも含む）」（27.8％）

※　うち「区内の文化施設や催しで親しむ機会」（14.1％）が約半数を占めている。

②「自宅の庭や玄関先、または公共の場で、プランターや植木鉢に草花を植えるなど、緑を増やしたり、育てる取り組み」（17.5％）

③「区内・区外を問わず、講演会や講座、サークル活動など」（14.5％）

（ウ）前回調査との比較では、ここ数年は増加傾向にあったが、今回調査ではすべての活動で減少しており、特に「自宅の庭や玄関先、または公共の場で、プランターや植木鉢に草花を植えるなど、緑を増やしたり、育てる取り組み」で4.3ポイントの減少となっている。

図８－５－２－①　経年比較／引き続き、または今後参加したいと思う活動

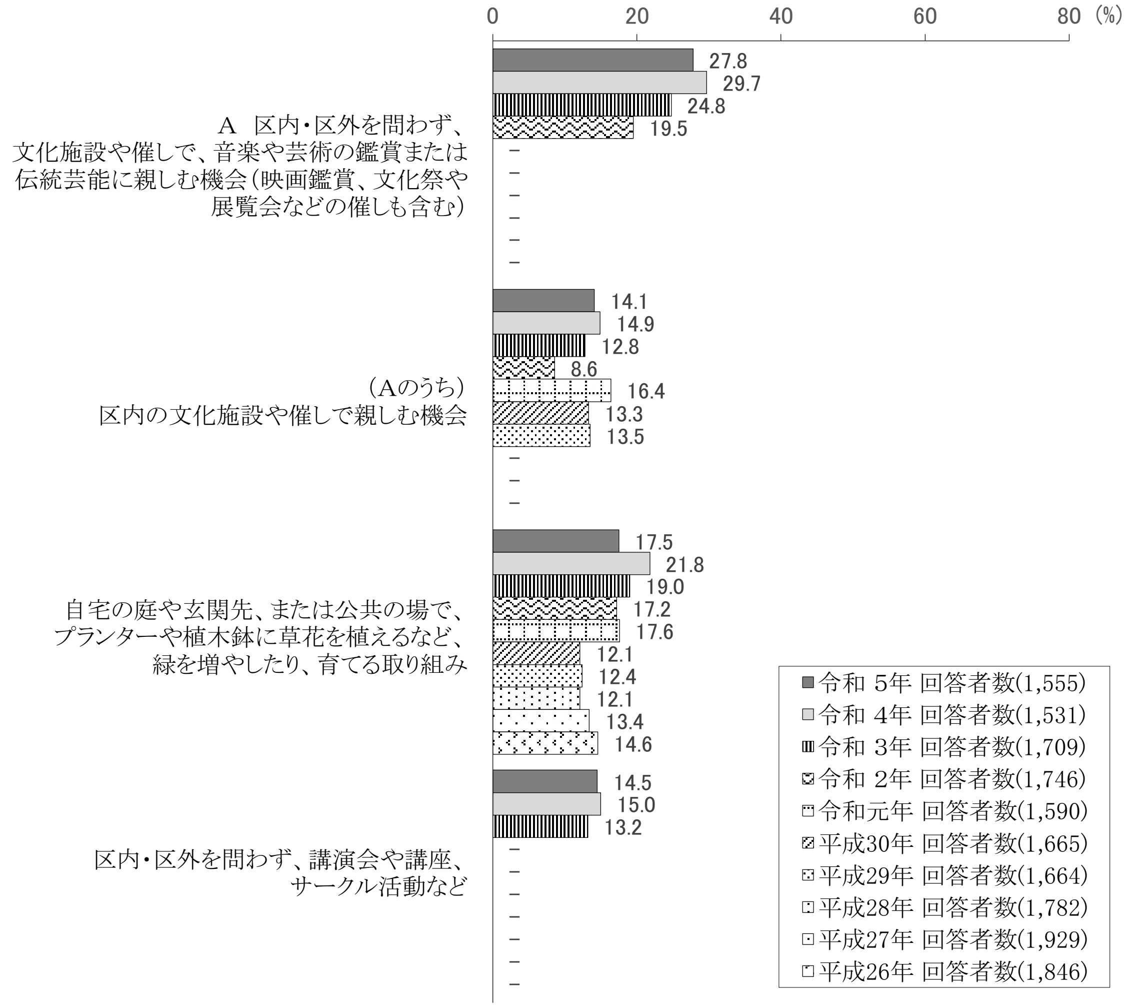
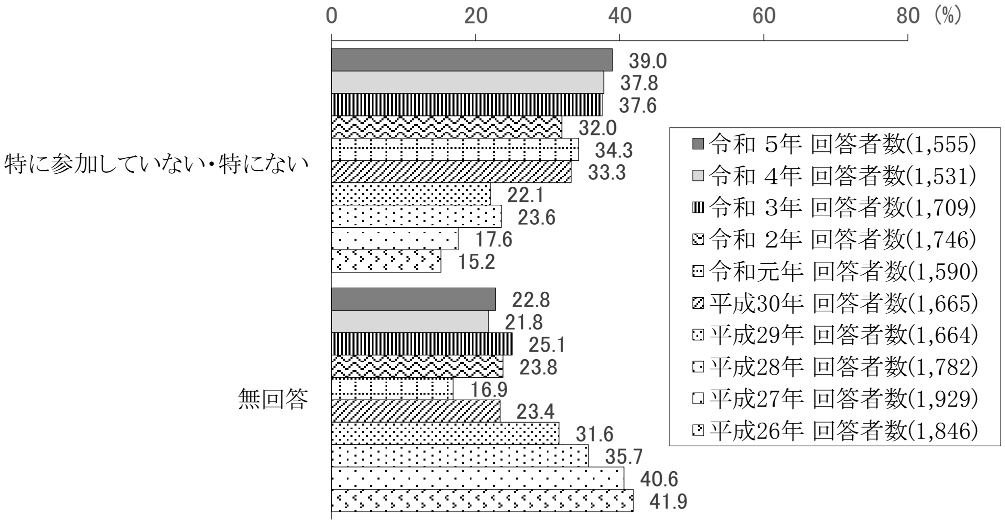


図８－５－２－②　経年比較／引き続き、または今後参加したいと思う活動



※「自宅の庭や玄関先、または公共の場で、プランターや植木鉢に草花を植えるなど、緑を増やしたり、育てる取り組み」は、平成26年度から平成30年度まで「自宅や店舗の庭や玄関先、ベランダ、公共の場などでの草花や木、緑のカーテンの育成」で、平成25年度以前は「自宅や公共の場での花壇づくり、緑のカーテンの設置など緑化活動」。

※「Ａ区内・区外を問わず文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会（映画鑑賞、文化祭や展覧会などの催しも含む）」は、平成29年度からの新設項目。平成29～30年度は「区内の文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会」だったが、令和元年度は、従来の選択肢の後に「（映画鑑賞、文化祭や展覧会などの催しも含む）」を加えた。さらに令和２～３年度は、選択肢冒頭の「区内の」を割愛し、副選択肢として「区内の文化施設や催しで親しむ機会」を設けた。さらに、前回の令和４年度で、選択肢の冒頭に「区内・区外を問わず、」を加えて副選択肢との関係を分かりやすくした。

※「講演会や講座、サークル活動など」は令和３年度の新設。今回の令和５年度調査で、選択肢の冒頭に「区内・区外を問わず、」を加えた。

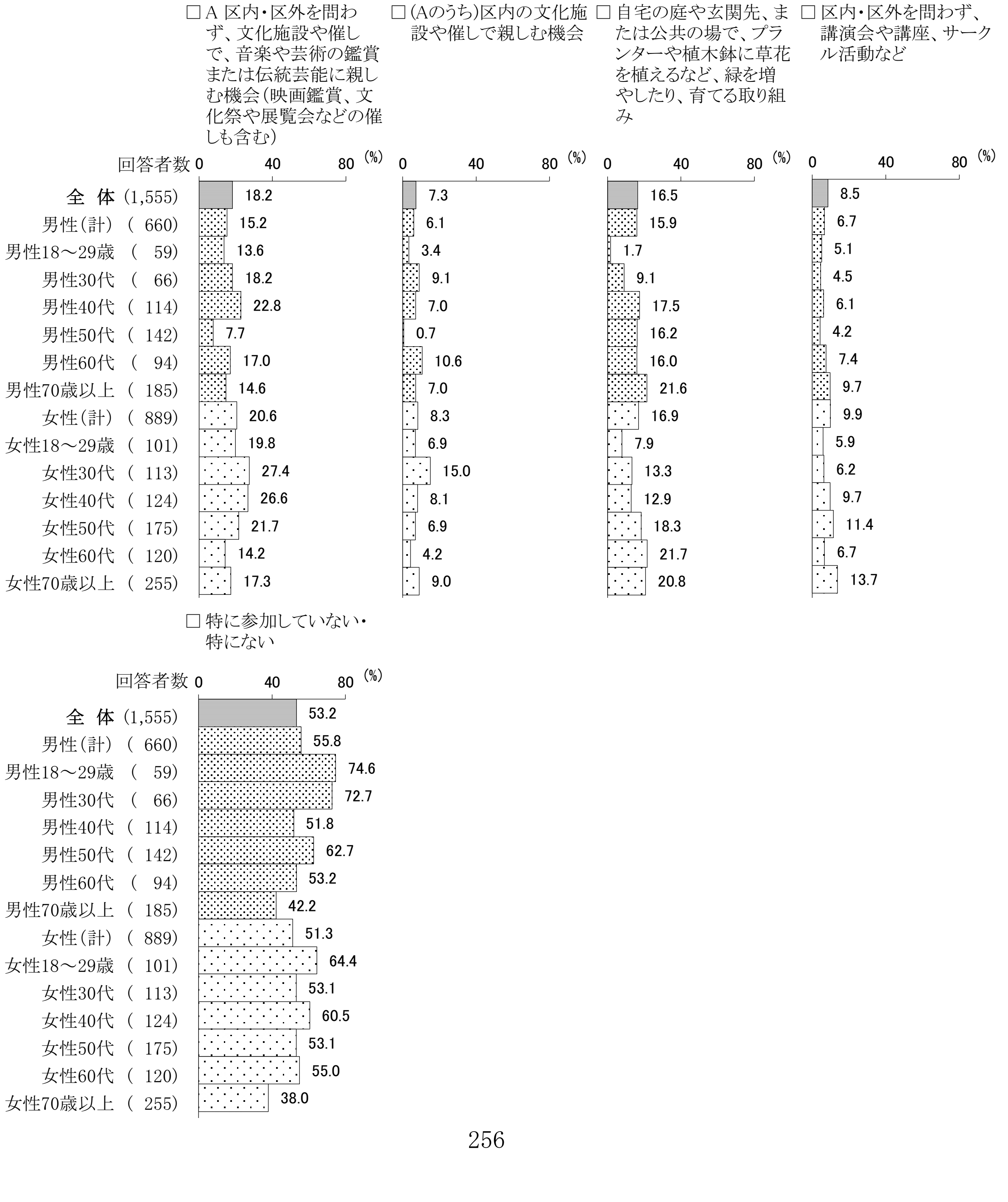
ウ　クロス集計・性別、性・年代別／この１年間に参加した活動

（ア）性別で参加状況をみると、「特に参加していない・特にない」は男性（55.8％）の方が女性（51.3％）より4.5ポイント高くなっている。

（イ）【参加した活動】について性別でみると、全て女性の方が高くなっており、「区内・区外を問わず、文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会（映画鑑賞、文化祭や展覧会などの催しも含む)」は女性（20.6％）の方が男性（15.2％）より5.4ポイント高くなっている。

（ウ）性・年代別でみると、「特に参加していない・特にない」は男性の18～29歳と30代で７割台と高くなっている。「区内・区外を問わず、文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会（映画鑑賞、文化祭や展覧会などの催しも含む)」は女性の30代と40代で２割台後半と他の性年代層に比べて高く、逆に男性の50代で7.7％と特に低くなっている。

図８－５－３　性別、性・年代別／この１年間に参加した活動



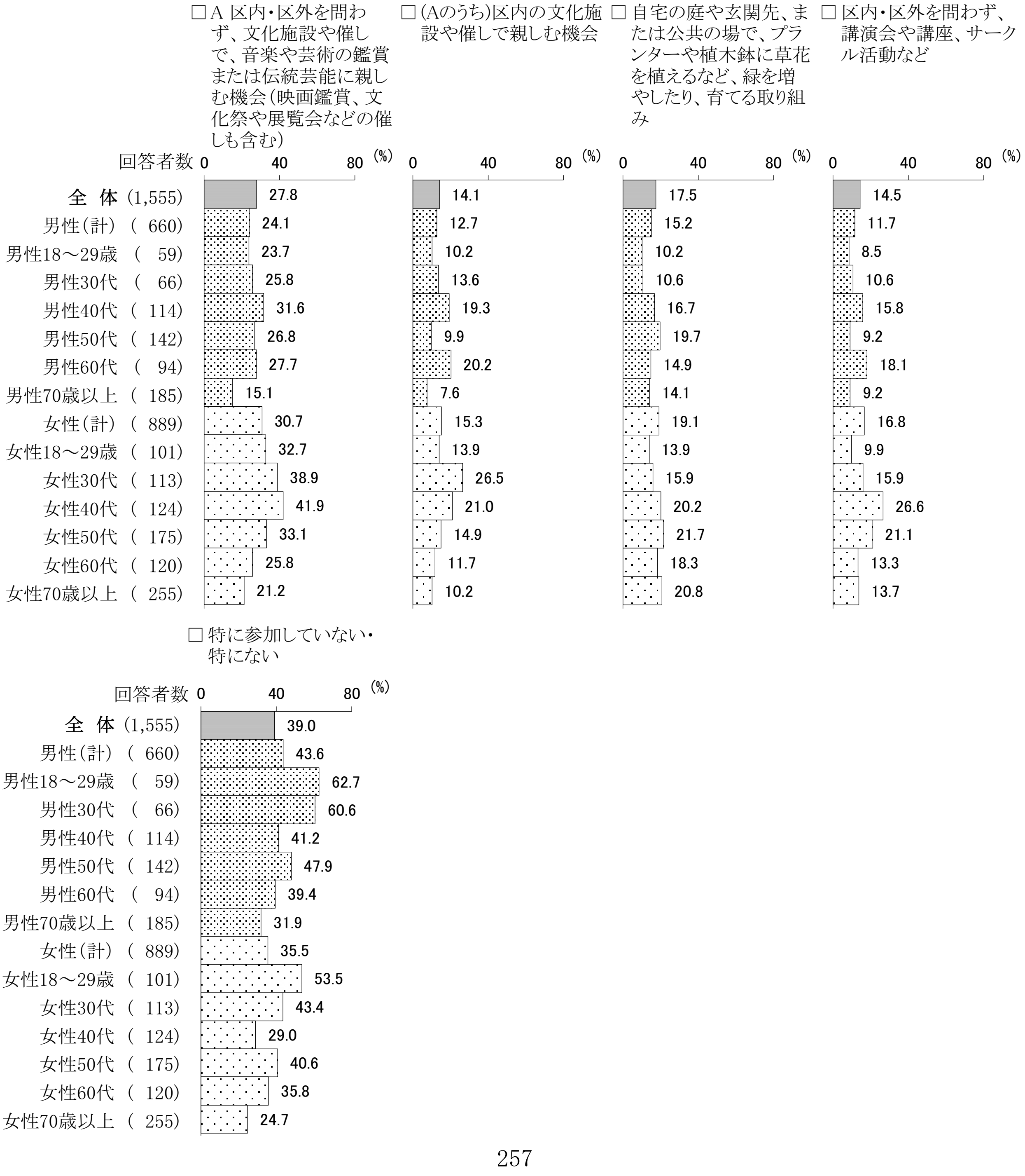
エ　クロス集計・性別、性・年代別／引き続き、または今後参加したいと思う活動

（ア）性別でみると、「特に参加しない・特にない」は男性（43.6％）の方が女性（35.5％）より8.1ポイント高くなっている。

（イ）【引き続き、または今後参加したいと思う活動】について性別でみると、全て女性の方が高くなっており、「区内・区外を問わず、文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会（映画鑑賞、文化祭や展覧会などの催しも含む）」は女性（30.7％）の方が男性（24.1％）より6.6ポイント高くなっている。

（ウ）性・年代別でみると、「特に参加しない・特にない」は男性の18～29歳と30代で６割台と高くなっている。「区内・区外を問わず、文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会（映画鑑賞、文化祭や展覧会などの催しも含む）」は女性の40代が４割超と最も高く、逆に男性の70歳以上が１割台半ばと最も低くなっている。

図８－５－４　性別、性・年代別／引き続き、または今後参加したいと思う活動

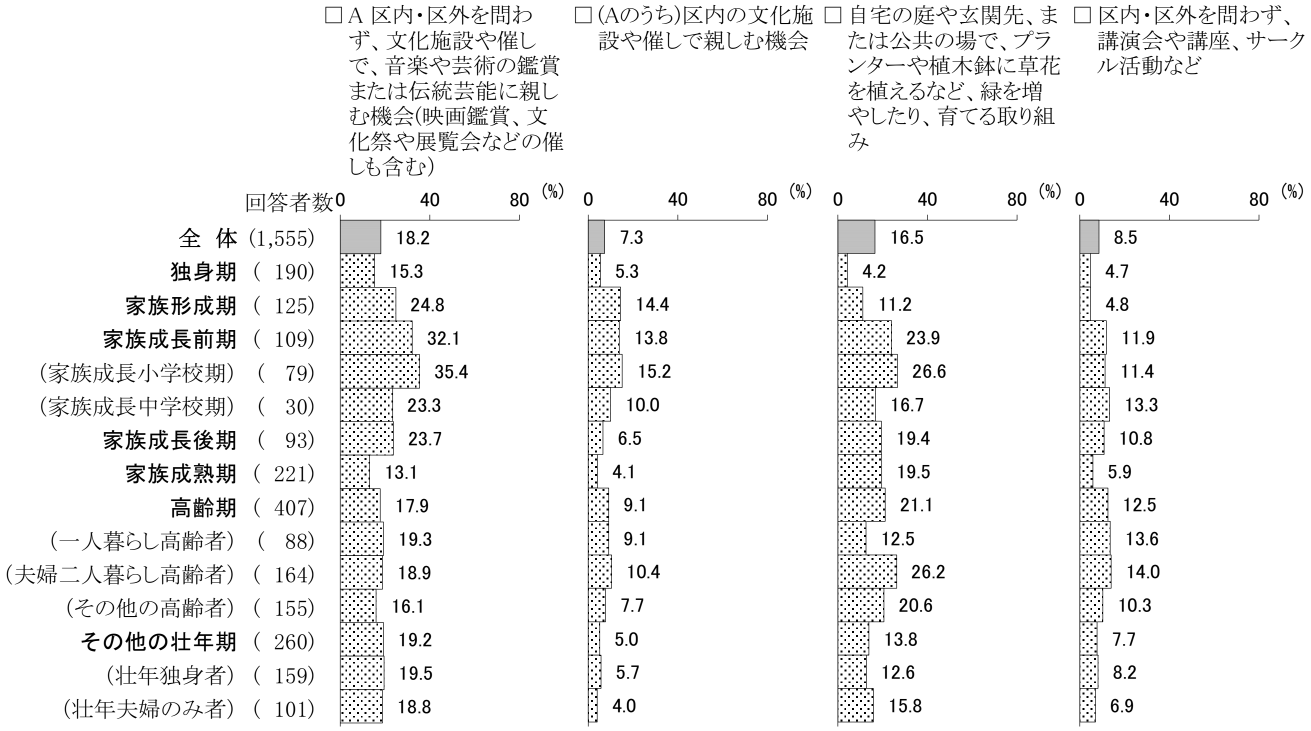


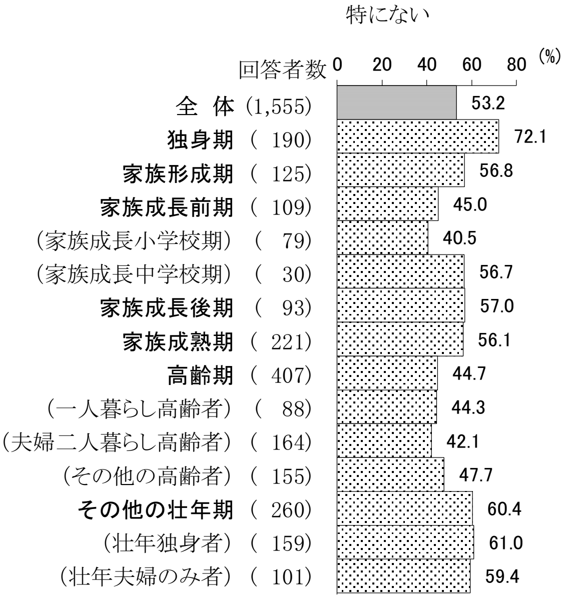
オ　クロス集計・ライフステージ別／この１年間に参加した活動

（ア）ライフステージ別にみると、「特に参加していない・特にない」は〈独身期〉が72.1％で最も高く、〈高齢期〉が44.7％で最も低くなっている。

（イ）【参加した活動】では、「区内・区外を問わず、文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会（映画鑑賞、文化祭や展覧会などの催しも含む）」は〈家族成長前期〉が32.1％で最も高く、〈家族成熟期〉が13.1％で最も低くなっている。また、「自宅の庭や玄関先、または公共の場で、プランターや植木鉢に草花を植えるなど、緑を増やしたり、育てる取り組み」は〈家族成長前期〉が23.9％で最も高く、〈独身期〉が4.2％で最も低くなっている。

図８－５－５　ライフステージ別／この１年間に参加した活動





カ　クロス集計・ライフステージ別／引き続き、または今後参加したいと思う活動

（ア）ライフステージ別にみると、「特に参加していない・特にない」は〈独身期〉が57.4％で最も高く、〈家族成長前期〉が29.4％で最も低くなっている。

（イ）【引き続き、または今後参加したいと思う活動】では、「区内・区外を問わず、文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会（映画鑑賞、文化祭や展覧会などの催しも含む）」は〈家族成長前期〉が45.0％で最も高く、〈高齢期〉が22.4％で最も低くなっている。また、「自宅の庭や玄関先、または公共の場で、プランターや植木鉢に草花を植えるなど、緑を増やしたり、育てる取り組み」も〈家族成長前期〉が26.6％で最も高く、〈家族形成期〉が12.0％で最も低くなっている。

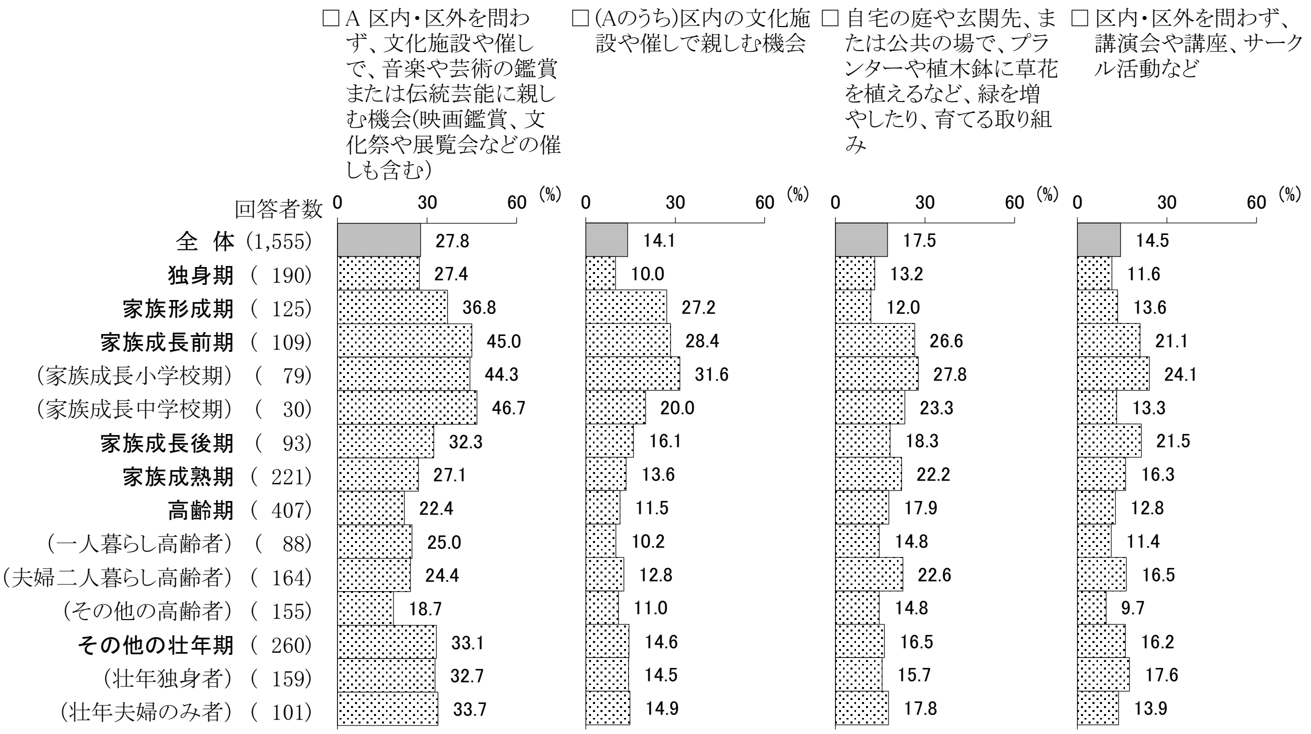
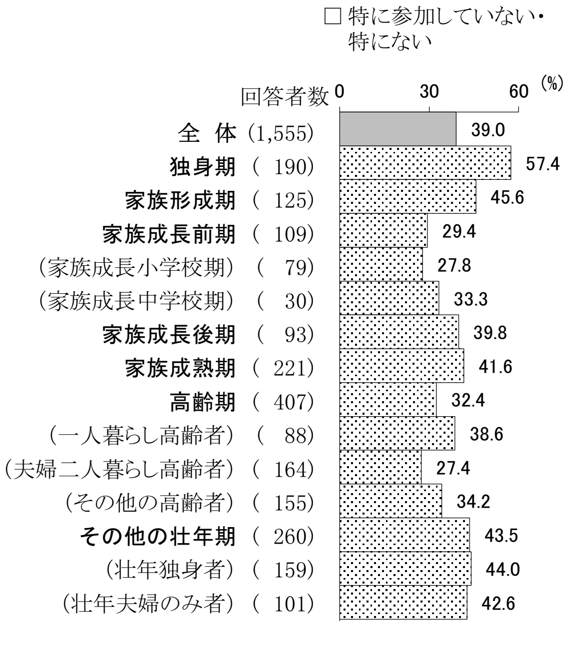



図８－５－６　ライフステージ別／引き続き、または今後参加したいと思う活動